

平成 29 年度 群馬県立館林美術館年報

2017.4 - 2018.3



Gunma Museum of Art,
Tatebayashi

群馬県立館林美術館

目次

・展覧会 p.3

A 展覧会一覧	p.3
B 企画展示記録	p.4
C コレクション展示記録	p.38
D 彫刻家のアトリエ(別館)展示記録	p.43
E 入館者数一覧表	p.44

・教育普及 p.45

A 講演会、アーティスト・トーク	p.45
B 作品解説会、ギャラリートーク、レクチャー、たてび☆キッズウォーク、ポンポン・ツアー	p.46
C ワークショップ	p.47
D 創作体験コーナー みんなのアトリエ	p.48
E たてび☆びじゅつ部	p.49
F たてび土曜レクチャー	p.50
G コンサート、読み聞かせ	p.50
H 他団体への協力	p.51
I 学校連携その他	p.52
J 地域に開かれた美術館づくり	p.57
K 刊行物	p.59
L ボランティア	p.60
M 友の会	p.60

・所蔵資料 p.61

A 美術作品	p.61
B 図書資料その他	p.67

・関係者および職員名簿 p.68

展覧会

A 展覧会一覧

(1)企画展示

展示名	会期	会場	内容
京都のみやびとモダン —京都国立近代美術館所蔵 日本画・工芸名品展—	4/22～6/25	展示室2～4	京都国立近代美術館の所蔵品から、京都にゆかりのある73名の作家による約120件の名品を紹介した。巨匠たちによる日本画・工芸の傑作が豪華競演する機会となった。
カミナリとアート 光／電気／神さま	7/15～9/3	展示室2～4	雷の発生件数が多い地域にある美術館として、身近な気象現象である「雷」をテーマにアートを親しむ展覧会。古美術から現代美術まで、28作家約70点の作品を紹介した。
鹿島茂コレクション フランス絵本の世界	9/23～12/24	展示室2～4	フランス文学者、鹿島茂氏の西洋の稀観書コレクションより、長年秘蔵されてきたフランスの絵本を初公開する展覧会。愛らしく美しいフランス絵本の250点を超える豊富なコレクションの全貌を紹介した。
粋な古伊万里	1/20～4/8	展示室2～4	初公開となる個人所蔵の伊万里焼のコレクションを、江戸時代前半の作品や、江戸時代後期の庶民に享受され、現代にも受け継がれたデザインをもつ食器の数々により紹介した。

(2)コレクション展示

展示名	会期	会場	内容
近現代の彫刻Ⅰ 「かたち」から「動き」へ	4/22～6/25	展示室1	フランソワ・ポンボン、パリー・フラナガンなど、動きが想像できるような作品を展示した。
近現代の彫刻Ⅱ フランソワ・ポンボンのブロンズ彫刻	7/15～9/3	展示室1	フランソワ・ポンボンの彫刻を、ブロンズ彫刻の鑄造工程を紹介する参考モデルとともに紹介した。
近現代の彫刻Ⅲ フランソワ・ポンボンの動物彫刻 を中心に	9/23～12/24	展示室1	フランソワ・ポンボン、ジョアン・ミロ、パリー・フラナガンなどの動物彫刻を展示した。
近現代の彫刻Ⅳ 動物・円・球体 —抽象化への志向—	1/20～4/8	展示室1	ブルーノ・ロメダ、和南城孝志などの抽象作品、チャーナ・オルロフ、イサム・ノグチなど具体的なモチーフが抽象へと向かう作品などを展示した。

1. 京都のみやびとモダン —京都国立近代美術館所蔵 日本画・工芸名品展—

会期 平成29年4月22日(土)～6月25日(日)
 前期:4月22日(土)～5月21日(日)
 後期:5月24日(水)～6月25日(日)
 会場 展示室2、3、4
 主催 群馬県立館林美術館
 特別協力 京都国立近代美術館
 観覧料 一般820(650)円 大高生410(320)円
 ()内は、20名以上の団体割引料金

京都国立近代美術館は、50年以上の多彩な活動を通して日本有数の近現代美術のコレクションを築き上げてきた。本展は、特に日本画と工芸の分野から、京都にゆかりのある作家の作品を厳選し、「みやび」といった言葉で表される美意識や、作家の自我や個性の芽生えと共に培われてきた「モダン」な感覚を見ることができた。

日本画では、京都画壇を代表する竹内栖鳳、琳派の継承者で

近代デザインの先駆者である神坂雪佳、上品かつ格調高い美人画で知られる上村松園、また、大正時代に結成された国画創作協会を牽引した土田麦僊や小野竹喬、戦後にパンリアル美術協会を結成し日本画の革新を目指した下村良之介らの作品を紹介した。

工芸では、北大路魯山人や富本憲吉、河井寛次郎、八木一夫、鈴木治らによる陶芸、森口華弘や志村ふくみ、北村武資、森口邦彦らによる染織、そのほか漆芸、七宝、金工、木工芸まで幅広いジャンルの作品を展示した。その中には、重要無形文化財保持者(いわゆる人間国宝)らの名品も数多く含まれた。

前期後期合わせて73名の作家による約120件の名品を通し、長い伝統に裏打ちされた美意識とともに、近代特有の清新な感性を確認することができた。

巨匠たちによる日本画・工芸の傑作が豪華競演する貴重な機会となった。

The Elegance and Modernity of Kyoto:
 Masterpieces of Japanese-style Paintings and Crafts
 from the Collection of The National Museum of Modern Art, Kyoto

京都のみやびとモダン
 —京都国立近代美術館所蔵 日本画・工芸名品展—

2017年4月22日(土)→6月25日(日)
 前期→4月22日(土)→5月21日(日) 後期→5月24日(水)→6月25日(日)
 観覧時間 一般9時30分～午後5時(入館は観覧30分まで)
 特別観覧時間 午後5時～7時(観覧料500円、別途300円)
 観覧料 一般820(650)円 大高生410(320)円
 要: 前売券あり、現金・クレジットカード
 券の代金は、観覧当日受付で現金・クレジットカードで支払
 上場: 群馬県立館林美術館 館林駅前・中心街 立川近代美術館

群馬県立館林美術館
 Gunma Museum of Art, Tatebayashi
 〒377-0076 群馬県館林市立川 2001 tel. 0275-72-8188 (fax) 0276-72-8553
<http://www.gunma-museum.jp/>

ポスター

京都のみやびとモダン
 The Elegance and Modernity of Kyoto:
 Masterpieces of Japanese-style Paintings and Crafts
 from the Collection of The National Museum of Modern Art, Kyoto

図録

京都のみやびとモダン
 The Elegance and Modernity of Kyoto:
 Masterpieces of Japanese-style Paintings and Crafts
 from the Collection of The National Museum of Modern Art, Kyoto

2017年4月22日(土)～6月25日(日)
 群馬県立館林美術館

ジュニアガイド

出品目録

第I章 日本画 —京都画壇の作家たち—

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横 または 高さ×幅×奥行	前期	後期
1	森寛斎	花鳥図	1891	絹本着色・軸装	142.4×58.5		○
2	富岡鉄斎	富士遠望・寒霞溪図	1905	紙本着色・六曲一双屏風	各154.7×359.6		○
3	今尾景年	老松孔雀図	1916	絹本着色・軸装	170.2×86.0		○
4	竹内栖鳳	蕭条	1904頃	絹本着色・六曲一双屏風	各167.5×372.0	○	
5	竹内栖鳳	南清風色	1926頃	絹本着色・額装	67.8×73.7		○
6	竹内栖鳳	若き家鴨	1937	紙本着色・二曲一双屏風	各171.0×184.0		○
7	竹内栖鳳	海幸	1939	絹本着色・額装	67.7×87.0	○	
8	神坂雪佳	寿老図	1937	絹本着色・軸装	125.2×45.5	○	
9	神坂雪佳	立葵図	大正末～昭和初期	絹本着色・軸装	141.2×50.0	○	
10	都路華香	埴輪	1916	紙本着色・二曲一双屏風	各169.5×181.4	○	
11	千種掃雲	木蔭	1922	絹本着色・額装	148.4×85.5	○	
12	千種掃雲	南国	1927	絹本着色・額装	175.0×85.0		○
13	上村松園	舞仕度	1914	絹本着色・二曲一隻屏風	170.0×202.0	○	
14	西村五雲	梅雨霽れ	1934	絹本着色・軸装	63.0×70.6		○
15	神阪松濤	少年図	明治末	絹本着色・額装	134.5×51.0	○	
16	神阪松濤	白川女	明治末	絹本着色・額装	120.0×51.0		○
17	入江波光	湖岸	1922	絹本着色・軸装	35.6×42.5	○	
18	入江波光	釣舟(風浪漁舟)	1939	紙本墨画淡彩・軸装	39.0×59.0		○
19	土田麦僊	鮭	1924	絹本着色・額装	39.0×50.0	○	
20	土田麦僊	罌粟 素描	1929頃	紙、鉛筆、淡彩・額装	42.3×59.7		○
21	土田麦僊	罌粟 素描	1929頃	紙、鉛筆、淡彩・額装	52.9×46.6	○	
22	土田麦僊	罌粟 素描	1929頃	紙、鉛筆、淡彩・額装	43.4×60.8	○	
23	土田麦僊	罌粟 素描	1929頃	紙、鉛筆、淡彩・額装	59.3×42.1		○
24	榊原紫峰	雪中白鷺之図	1924	絹本着色・軸装	68.2×86.0		○
25	榊原紫峰	池畔白鷺	1942頃	絹本着色・軸装	36.9×42.5	○	
26	村上華岳	春日耕牛図	1916	絹本着色・軸装	127.0×42.4		○
27	村上華岳	妓女舞踊図	1920	絹本着色・軸装	37.9×47.0	○	
28	野長瀬晩花	ヴェルダン風景(戦ひの跡)	1922	絹本着色・額装	47.5×57.0		○
29	小野竹喬	村道(北国の田舎道)	1923	紙本着色・額装	117.4×112.0		○
30	小野竹喬	奥の細道句抄絵 あかあかと日は難面もあきの風	1976	紙本着色・額装	59.0×90.0	○	
31	小野竹喬	奥の細道句抄絵 浪の間や小貝にまじる萩の塵	1976	紙本着色・額装	59.0×90.0		○
32	堂本印象	規範への抵抗	1960	麻布、油彩、墨・額装	210.0×270.0	○	
33	福田平八郎	朝顔	1926	絹本着色・軸装	37.5×50.7		○
34	福田平八郎	牡丹	1936頃	紙本着色・軸装	39.0×49.2	○	
35	榊原始更	樹映	1920	絹本着色・額装	62.7×86.2		○
36	池田遙邨	あすもあたたかう歩かせる星が出てゐる 山頭火	1987	紙本着色・額装	109.3×160.0	○	
37	徳岡神泉	鯉	1929	絹本着色・額装	217.3×180.8	○	
38	徳岡神泉	罌粟	1933	絹本着色・額装	172.3×152.5		○
39	伊藤柏台	卓上静物	1921	紙本着色・額装	56.0×76.2	○	
40	梶原緋佐子	残波岬	1978	紙本着色・額装	163.5×90.5		○
41	森紅凝	母子像	1924	紙本着色・額装	167.0×90.3	○	
42	麻田辨自	とがのをの山	1974	紙本着色・額装	148.0×139.0		○
43	山口華楊	白露	1974	紙本着色・額装	178.0×141.6		○
44	三輪晃勢	家	1954	紙本着色・額装	113.5×162.0	○	
45	広田多津	想	1988	紙本着色・額装	150.0×110.0	○	
46	西山英雄	桜島と連絡船	1988	紙本着色・額装	160.0×185.0	○	
47	三上誠	異性の街 B	1962	ダンボール、木、布・着色・額装	175.3×117.4		○
48	大野倣嵩	舞	1970	綿・着色・額装	136.0×121.0	○	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横 または 高さ×幅×奥行	前期	後期
49	下村良之介	鬮鶏 捻	1981	紙粘土・顔料・額装	123.0×199.3		○
50	下村良之介	月明を翔く 亜	1987	紙粘土・顔料・紙・額装	122.5×234.0	○	
51	堂本元次	風なごむ丘	1983	紙本着色・額装	145.0×215.0		○
52	麻田鷹司	鳥のいる作品	1953	紙本着色・額装	153.0×206.0		○

第II章 工芸 — 伝統と創造の磁場としての京都 —

漆芸

53	木村表斎	真黒塗扇画蒔絵煮物椀	明治初期	蒔絵・木、漆	径13.7×高5.5	○	○
54	二代木村表斎	鶯宿梅蒔絵吸物椀	明治中期	蒔絵・木、漆	径12.2×高8.7	○	○
55	浅井忠 図案 杉林古香 制作	鶏梅蒔絵文庫	1906	蒔絵・木、漆、鉛、貝	14.0×25.8×32.5	○	○
56	富田幸七	蒔絵貝散重箱	明治時代	蒔絵・木、漆	36.5×23.5×22.0	○	○
57	神坂祐吉	月象之図 硯付手箱	大正時代	蒔絵・螺鈿・木、漆、貝	18.8×22.7×37.7	○	○
58	神坂祐吉	月之意蒔絵硯箱	大正～昭和初期	蒔絵・螺鈿・木、漆、鉛、 貝	径29.0×高5.2	○	○
59	平館曾	春融白映手筥	1936	彫漆・木、漆	18.7×29.0×25.2	○	○

七宝

60	並河靖之	七宝菊文煙草入	明治後期	七宝	3.0×7.0×8.5	○	○
61	並河靖之	白地菊唐草文香炉	明治後期	七宝	径9.0×高9.3	○	○

金工

62	加藤宗巖	鬮魂	1962	鍛金・銅鍍金	55.0×25.0×17.5	○	○
63	加藤宗巖	しの田の森の秋宵	1981	鍛金・銅鍍銀、金彩	47.0×21.0×18.0	○	○

木工芸

64	黒田辰秋	拭漆灰皿	1950頃	拭漆・木	13.0×13.0×7.5	○	○
65	黒田辰秋	拭漆文櫛木飾棚	1966	拭漆・樺	81.0×118.0×39.0	○	○
66	黒田辰秋	拭漆チーク箱	1974頃	拭漆・木	18.5×34.5×15.0	○	○
67	村山明	樺拭漆輪華盤	2000	拭漆・樺	6.2×42.7×42.7	○	○

陶芸

68	五代清水六兵衛	朱錦壺	1934	陶器	径27.2×高29.5	○	○
69	五代清水六兵衛	色絵秋草手焙	1940	陶器	径20.5×高17.4	○	○
70	六代清水六兵衛	三彩藍泐花瓶	1963	陶器	径28.0×高31.0	○	○
71	六代清水六兵衛	古稀彩弦月壺	1973	陶器	径38.0×高30.0	○	○
72	宇野三吾	星点碧釉壺	1962	陶器	径21.5×高20.0	○	○
73	北大路魯山人	織部俎板盤	1949	陶器	7.0×49.8×25.2	○	○
74	北大路魯山人	色絵金彩椿文鉢	1955	陶器	径36.0×高20.0	○	○
75	富本憲吉	色絵更紗模様中皿	1941	磁器	径25.8×高3.1	○	○
76	富本憲吉	色絵更紗六角捻德利(一對)	1949	磁器	各径10.0×高11.5	○	○
77	富本憲吉	色絵金銀彩飾壺	1953	磁器	径24.0×高18.0	○	○
78	近藤悠三	葡萄棚染付壺	1964	磁器	径39.0×高32.0	○	○
79	近藤悠三	富士染付釉裡紅金彩壺	1979頃	磁器	径29.5×高33.3	○	○
80	河井寛次郎	打葉扁壺	1962	陶器	29.7×27.4×21.4	○	○
81	河井寛次郎	呉州釉陶彫	1962	陶器	43.5×23.5×17.5	○	○
82	石黒宗磨	緑釉蓋物	1935頃	陶器	径18.5×高18.0	○	○
83	楠部彌弌	葡萄文花瓶	1927	陶器	径28.0×高36.0	○	○
84	楠部彌弌	彩埴 清晨 花瓶	1983	磁器	径23.5×高28.5	○	○
85	楠部彌弌	彩埴 新秋 花瓶	1984	磁器	径25.0×高22.3	○	○
86	森野嘉光	緑釉窯変赤黒花瓶	1967	陶器	径18.4×高34.2	○	○
87	八木一夫	二口壺	1950	陶	13.5×20.0×19.0	○	○
88	八木一夫	黒陶人物	1964	陶	21.5×21.0×23.0	○	○
89	八木一夫	方壺	1966	陶	49.5×15.0×15.0	○	○
90	八木一夫	距離	1974	陶	27.7×59.5×16.5	○	○
91	山田光	塔	1962	陶	39.0×47.0×6.0	○	○
92	山田光	窓	1963	陶	41.8×33.0×6.0	○	○
93	鈴木治	雪の中の馬	1973	陶	77.1×46.5×19.8	○	○
94	鈴木治	泥象 埃及の馬	1990	陶	138.0×43.0×32.5	○	○
95	清水卯一	青瓷大鉢	1973	磁器	径40.5×高16.0	○	○
96	十五代樂吉左衛門	焼貫黒茶碗・雲雷後	1999	陶器	径12.6×高9.4	○	○

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横 または 高さ×幅×奥行	前期	後期
97	八木明	黒釉球入れ子蓋物	2000	磁器	最大:径28.0×高30.2 最小:径0.3×高0.3	○	○
染 織							
98	小倉建亮	訪問着 懐郷	1962	絞り染・縮緬	170.0×123.0	○	
99	小合友之助	屏風 庭	1953	蒨纈染・和紙・二曲一隻 屏風	170.0×185.0		○
100	小合友之助	今朝風流	1965	蠟染・絹紬	168.5×185.0	○	
101	稲垣稔次郎	壁掛 東寺の縁日	1952	型絵染・木綿	180.0×180.0	○	
102	森口華弘	訪問着 光	1964	友禅染・縮緬	162.0×120.0		○
103	羽田登喜男	友禅訪問着 浮遊	1961	友禅染・縮緬	162.6×132.0	○	
104	羽田登喜男	上代紬地友禅染着物 白夜	1976	友禅染・紬	160.0×127.0		○
105	三浦景生	末摘花	1972	布象嵌・二曲半双屏風	182.0×186.0		○
106	伊砂利彦	振袖 嫁ぐ日(孔雀模様)	1970	友禅染・蠟纈	161.0×130.0	○	
107	伊砂利彦	振袖 嫁ぐ日(松模様)	1970	友禅染・蠟纈・箔	168.0×130.0		○
108	志村ふくみ	紬織着物 律	1961	草木染・手織紬	168.0×129.0		○
109	志村ふくみ	紬織着物 嵯峨野	1963	草木染・手織紬	165.0×129.0	○	
110	北村武資	二重襷文羅	1981	絹・紫根・額装	45.5×50.5	○	
111	北村武資	小菱文羅	1981	絹・紅・額装	45.5×50.5		○
112	北村武資／ 福田喜重	羅地竹屋町	1981	絹・白・刺繡・額装	45.5×50.5	○	
113	北村武資／ 鈴木一	羅地印金	1981	絹・茜・額装	45.5×50.5		○
114	北村武資	稻妻襷文羅コート	1981	絹、コチニール	138.0×131.0		○
115	北村武資	四ツ目菱文羅着物	1982	絹、臭木	158.0×135.0	○	
116	北村武資	藍単地経錦着物	2007	経錦	192.5×141.0		○
117	北村武資	淡紫地経錦着物	2009	経錦	187.0×132.0	○	
118	森口邦彦	友禅訪問着 網代暈模様	1968	友禅染・絹	129.0×161.5		○
119	森口邦彦	友禅着物 雪明り	1969	友禅染・絹	153.0×128.0	○	

◎印刷物・会場作成物

・図録 A5判変形(22.5×15.1cm) 134頁

内容:

ごあいさつ

謝辞

目次

近代京都の日本画と工芸(島田康寛)

図版

第1章 日本画 —京都画壇の作家たち—

第2章 工芸 —伝統と創造の磁場としての京都—

図案を巡る動向—近代京都における制作・教育の場を中心に(野澤広紀)

関連年表

作家略歴

本展に関わる主要な歴史的背景

主要参考文献

出品作品リスト

執筆:島田康寛(美術評論家)

執筆・編集:野澤広紀(群馬県立館林美術館学芸員)

翻訳:小川紀久子

デザイン:山田デザイン事務所

制作:株式会社インターパブリカ

印刷:光村印刷株式会社

発行日:2017年4月22日

発行:群馬県立館林美術館

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド 蛇腹折り、20.6×14.8cm

デザイン:山田デザイン事務所

制作:株式会社インターパブリカ

・パネル

挨拶1枚、前期後期出品作品一覧表1枚、章解説2枚、工芸分野解説6枚、年表1枚、京都国立近代美術館紹介1枚

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・朝日新聞

5.9

「京都のみやびとモダン 京都国立近代美術館所蔵 日本画・工芸名品

展」(群馬マリオン)

・朝日ぐんま

6.9

「京都のみやびとモダン—京都国立近代美術館所蔵 日本画・工芸名品展—」(学芸員 野澤広紀)〈文化紀行〉*

・産経新聞

6.16

「京都のみやびとモダン—京都国立近代美術館所蔵 日本画・工芸名品展—」〈開催中です!〉

・上毛新聞

5.9

「「京都のみやびとモダン」展より① 上村松園《舞仕度》【前期展示】〈アートを楽しむ〉*

5.10

「「京都のみやびとモダン」展より② 神坂雪佳《立葵図》【前期展示】〈アートを楽しむ〉*

5.11

「「京都のみやびとモダン」展より③ 森口邦彦《友禅着物 雪明り》【前期展示】〈アートを楽しむ〉*

5.12

「「京都のみやびとモダン」展より④ 北大路魯山人《色絵金彩椿文鉢》〈アートを楽しむ〉*

5.13

「「京都のみやびとモダン」展より⑤ 浅井忠・図案 杉林古香・制作《鶏梅蒔絵文庫》〈アートを楽しむ〉*

5.18

「京の名作 32年ぶり来県 館林美術館 日本画、工芸を紹介」*

・上毛新聞 シャトル

5.11

「京都が誇る日本画、工芸 館林美術館で企画展 32年ぶり 本県へ」*

6.8

「日本画、工芸 京の美に迫る 京都国立近代美術館の至宝 25日まで館林美術館」*(学芸員 野澤広紀)

・読売新聞

4.21

「京都のみやびとモダン」〈ギャラリー〉

5.30(夕刊)

「群馬県立館林美術館「京都のみやびとモダン」から「色絵金銀彩飾壺」(学芸員 野澤広紀)〈ぎやらりいモール〉*

・群馬よみうりピバ!アミーゴ

4.21

「京都のみやびとモダン—京都国立近代美術館所蔵 日本画・工芸名品展—」(Event Information)

・両毛新聞

4.6

「京都のみやびとモダン 群馬県立館林美術館」*

〔定期刊行物〕

・目の眼

5月号

「復元された「印金」を展示 京都のみやびとモダン—京都国立近代美術館所蔵 日本画・工芸名品展—」

・raifu

4月号、5月号

「群馬県立館林美術館」(Art&StageEvent)

6月号

「日本近代美術の巨匠たちの作品が豪華競演」(Event in Gunma)

・渡良瀬通信

5月号

「群馬県立館林美術館 上村松園《舞仕度》」(学芸員 野澤広紀) (りょうもう 誌上美術館) *

◎放送

〔ラジオ〕

・FM桐生

4.20

「企画展示「京都のみやびとモダン —京都国立近代美術館所蔵 日本画・工芸名品展—」学芸員による作品解説会のお知らせ」(ぐんまいきいき情報)

5.4

「企画展示「京都のみやびとモダン —京都国立近代美術館所蔵 日本画・工芸名品展—」のお知らせ」(ぐんまいきいき情報)

5.11

「企画展示「京都のみやびとモダン —京都国立近代美術館所蔵 日本画・工芸名品展—」館長によるギャラリートークのお知らせ」(ぐんまいきいき情報)

6.8

「たてび☆びじゅつ部 「簡単！和紙染め体験」のお知らせ」(ぐんまいきいき情報)

・FM太郎

4.20

「企画展示「京都のみやびとモダン —京都国立近代美術館所蔵 日本画・工芸名品展—」のお知らせ」(ぐんまいきいき情報)

5.9

「企画展示「京都のみやびとモダン —京都国立近代美術館所蔵 日本画・工芸名品展—」のお知らせ」(ぐんまいきいき情報)

6.6

「たてび☆びじゅつ部 「簡単！和紙染め体験」のお知らせ」(ぐんまいきいき情報)

6.13

「たてび☆キッズウォークのお知らせ」(ぐんまいきいき情報)

〔テレビ〕

・NHK総合(首都圏)

4.17

「京都のみやびとモダン」(ひるまえほっと)

・館林ケーブルテレビ

5.15-21

「群馬県立館林美術館『京都のみやびとモダン』」(う・ら・ら)

◎関連事業

・記念講演会

5.30

講師:十五代樂吉左衛門氏(陶芸家)

・ワークショップ

5.20

「いろいろな木でマグネットを作ろう」

講師:須田賢司氏(重要無形文化財「木工芸」保持者)

・たてび☆びじゅつ部

5.13、6.10

「簡単！和紙染め体験」

・当館館長によるギャラリートーク

5.14、5.26

・学芸員による作品解説会

4.26、6.11

・たてび☆キッズウォーク

5.6、6.17



展示室2



展示室2



展示室3



展示室4

2. カミナリとアート 光／電気／神さま

会期 平成29年7月15日(土)～平成29年9月3日(日)

会場 展示室2、3、4

主催 群馬県立館林美術館

助成 芸術文化振興基金

観覧料 一般610円(480円)、大高生300円(240円)

()内は20名以上の団体割引料金

群馬県は雷の多い地域であり、館林に近い板倉町には絵本社格とされる雷電神社が存在する。こうした地域性から、身近な気象現象である「雷」をテーマに設定し、様々な年代、特に子どもたちが美術を楽しむことができるよう、雷や雷にまつわる事象から連想される様々な作品を紹介する展覧会を開催した。

展覧会は全体を三つの章に分け、第一章「雷をあらわす」では、絵画や写真で雷を表現した作品を紹介した。館林市内の上三林雷電神社から稲妻を描いた《雷神図絵馬》、雷を追跡して撮影する写真家、青木豊の写真、ラウル・デュフィの《電気の子》などを展示した。第二章は「雷さまのすがた」として、雷を擬人化した表現を紹介した。大津絵の《雷と太鼓》や河鍋暁斎《風神雷神図》をはじめ、富岡市の一之宮貫前神社の《雷神小窓》や上毛かるたの原画など、群馬県ゆかりの作品も紹介した。

第三章は「光・音・電気のアート」として、雷現象をイメージする要素を表現する現代美術作品を紹介した。TOCHKAは光の線を描く体験型の作品を展示し、展示室で鑑賞者が作成した作品をインターネット上でリアルタイムに公開し、当館としても初めての試みとなった。この章では他にも木村崇人やタムラサトルの電気を使った作品、多和田有希の光を表現した写真作品、杉本博司の電気を写し撮った作品、小野田賢三の音を表現した作品など、バラエティに富んだ作品を紹介した。出品作家は28作家、作品点数は全72点。展示作品は古美術から現代美術の作品まで、日本画、洋画、彫刻、写真、工芸、映像、インスタレーションと、幅広い美術作品を集めることができ、テーマ展としての見どころを多く用意できた。

関連事業では、出品作家によるワークショップを2回行ったが、それぞれの出品作品にちなんだ作品制作は参加者に好評であった。

夏休み期間の開催のため、特に子どもたちが楽しめることを念頭に置いていたが、幅のある展示作品や体験型作品などは年齢性別を問わず多くの方楽しんでいただけた展覧会となった。



ポスター



図録



ジュニアガイド

出品目録

第一章 雷をあらわす

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横または 高さ×幅×奥行	所蔵	展示期間
1		浅間焼吾妻川利根川泥押 絵図	1856	墨、顔料・紙	155.0×81.0	群馬県立歴史博物館	
2		雷神図絵馬	1879	墨、顔料・板	57.0×84.0	上三林雷電神社	
3	川端龍子	怒る富士	1944	紙本墨画金彩	248.0×188.0	大田区立龍子記念館	
4	青木豊	スパイダーネット	2008	インクジェットプリント・紙	29.4×42.0	作家蔵	
5	青木豊	サイドワインダー	2008	インクジェットプリント・紙	29.4×42.0	作家蔵	
6	青木豊	夜空を駆ける	2008	インクジェットプリント・紙	29.4×42.0	作家蔵	
7	青木豊	ゼウスの雷槌	2012	インクジェットプリント・紙	29.4×42.0	作家蔵	
8	青木豊	分枝	2013	インクジェットプリント・紙	29.4×42.0	作家蔵	
9	青木豊	光跡	2013	インクジェットプリント・紙	29.4×42.0	作家蔵	
10	青木豊	暗雲	2014	インクジェットプリント・紙	29.4×42.0	作家蔵	
11	青木豊	雷一閃	2014	インクジェットプリント・紙	29.4×42.0	作家蔵	
12	青木豊	烈火の如く	2014	インクジェットプリント・紙	29.4×42.0	作家蔵	
13	青木豊	シナバーレドスカイ	2015	インクジェットプリント・紙	29.4×42.0	作家蔵	
14	青木豊	らいさま降臨	2015	インクジェットプリント・紙	29.4×42.0	作家蔵	
15	青木豊	昼と夜の狭間	2015	インクジェットプリント・紙	29.4×42.0	作家蔵	
16	青木豊	雷鳴轟く	2015	インクジェットプリント・紙	29.4×42.0	作家蔵	
17	青木豊	夕立ち	2016	インクジェットプリント・紙	29.4×42.0	作家蔵	
18	青木豊	嵐が来る	2016	インクジェットプリント・紙	29.4×42.0	作家蔵	
19	ラウル・デュフィ	電気の方	1953	カラーリトグラフ・紙	101.2×63.1 10点組	群馬県立館林美術館	
20	柄澤齊	樹々の家族より《六月》	2002～03	木版・紙	19.0×22.0	群馬県立館林美術館	
21	榎本耕一	マジで裏切られた心臓	2013	油彩・カンヴァス	194.0×130.0	池田克彦氏	
22	菅井汲	雷	1960	リトグラフ・紙	77.0×50.3	東京国立近代美術館	
23	加納光於	稲妻捕り PF-3	1977	リトグラフ(多色)・紙	62.4×50.5	町田市立国際版画美術	
24	加納光於	稲妻捕り PF-5	1977	リトグラフ(多色)・紙	62.4×50.5	町田市立国際版画美術	
25	加納光於	稲妻捕り PF-6	1977	リトグラフ(多色)・紙	62.0×50.0	町田市立国際版画美術	
26	加納光於	稲妻捕り PF-8	1977	リトグラフ(多色)・紙	62.4×50.2	町田市立国際版画美術	
27	加納光於	稲妻捕り PF-9	1977	リトグラフ(多色)・紙	62.0×50.0	町田市立国際版画美術	
28	白髪一雄	普門品 雲雷鼓掣電	1980	油彩・麻布	194.0×253.0	茨城県近代美術館	
29	オノサト・トシノブ	雷	1982	油彩・カンヴァス	100.0×100.0	群馬県立近代美術館	

第二章 雷さまのすがた

30	伝鈴木春信	美人と雷公図	江戸時代	紙本着色・軸	82.1×13.0	群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション	
31	大津絵	雷と太鼓	江戸時代	紙本着色	60.0×22.0	町田市立博物館	展示期間: 7/15～8/8
32	大津絵	雷と太鼓	江戸時代	紙本着色	65.3×23.4	町田市立博物館	展示期間: 8/9～9/3
33	河鍋暁斎	風神雷神図	明治前半	絹本墨画淡彩・一幅	145.5×42.2	公益財団法人 河鍋暁斎記念美術館	展示期間: 7/15～8/8
34	河鍋暁斎	風神雷神図	1871以降	絹本着色・双幅	各110.9×31.9	公益財団法人 河鍋暁斎記念美術館	展示期間: 8/9～9/3
35	橋本雅邦	雷神図	1903頃	紙本着色	168.6×84.2	横須賀美術館	
36		雷神小窓	1931	顔料・木	26.8×28.6	一之宮貫前神社	
37	桂ゆき	作品	1936	油彩・カンヴァス	49.5×60.0	板橋区立美術館	
38	中野恵祥	霹靂置物	1944	真鍮	18.0×30.0× 45.0	個人蔵	
39	中野恵祥	雷神燭台	1948	真鍮	31.0×24.0× 6.0	個人蔵	
40	石井鶴三	雷 試作	1957	ブロンズ	129.0×61.0× 52.0	板橋区立美術館	
41	伊藤三枝	時節到来	1965～74	紙、布、木	30.5×28.0× 14.0	個人蔵	
42	小見辰男	上毛かるた 「雷と空風 義理人情」原画	1968	水彩・紙	16.0×12.5	群馬県立歴史博物館	
43	中島清之	雷神	1977	紙本着色・額装	162.4×165.0	横浜美術館	

第三章 光・音・電気のアート

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm) 縦×横または 高さ×幅×奥行	所蔵	展示期間
44	岡本健彦	風神・雷神	1993	油彩、鉛、ステンレス チール、カンヴァス、合板	183.0×200.0 ×398.0	群馬県立館林美術館寄託	
45	絹谷幸二	蒼穹夢譚	2000	ミクストメディア・カンヴァ	194.0×259.0	日本芸術院	
46	高橋房雄	雷神	2010	油性インク・雁皮紙	44.0×36.0	渋川市美術館 ・桑原巨守彫刻美術館	
47	高橋房雄	風神	2010	油性インク・雁皮紙	44.0×36.0	渋川市美術館 ・桑原巨守彫刻美術館	
48	福田美蘭	風神雷神図	2013	アクリル絵具・パネル	181.8×227.2	横浜美術館	
49	福田美蘭	大津絵—雷公	2014	アクリル絵具・パネル	227.3×181.8	作家蔵	
50	TOCHKA	TRACK	2015	映像(4分)		作家蔵	
51	TOCHKA	PiKAPiKA Tryout #TATEBAYASHI	2017	インスタレーション		作家蔵	
52	木村崇人	出前調理人	2009～17	ビデオインスタレーション		作家蔵	
53	多和田有希	Untitled(Shanghai 1)	2011	インクジェットプリント・ニード ル、消しゴム、サンドペー パーによるスクラッチ	100.0×150.0	作家蔵	
54	多和田有希	Untitled(Shanghai 2)	2011	インクジェットプリント・ニード ル、消しゴム、サンドペー パーによるスクラッチ	66.7×100.0	作家蔵	
55	多和田有希	Untitled(Roppongi 1)	2013	インクジェットプリント・ニード ル、消しゴム、サンドペー パーによるスクラッチ	66.7×100.0	作家蔵	
56	多和田有希	Untitled(Roppongi 2)	2014	インクジェットプリント・ニード ル、消しゴム、サンドペー パーによるスクラッチ	100.0×150.0	作家蔵	
57	多和田有希	Untitled(Ginza)	2014	インクジェットプリント・ニード ル、消しゴム、サンドペー パーによるスクラッチ	100.0×150.0	作家蔵	
58	多和田有希	Untitled(Ikebukuro)	2015	インクジェットプリント・ニード ル、消しゴム、サンドペー パーによるスクラッチ	38.5×54.0	作家蔵	
59	多和田有希	Untitled(Akasaka)	2017	インクジェットプリント・ニード ル、消しゴム、サンドペー パーによるスクラッチ	100.0×150.0	作家蔵	
60	多和田有希	Untitled(Marriage)	2017	インクジェットプリント・ニード ル、消しゴム、サンドペー パーによるスクラッチ	27.4×20.5	作家蔵	
70	多和田有希	torus(Kobe)01	2014	インクジェットプリント・ニード ル、消しゴム、サンドペー パーによるスクラッチ	210.0×76.7	作家蔵	
71	多和田有希	torus(Kobe)02	2015	インクジェットプリント・ニード ル、消しゴム、サンドペー パーによるスクラッチ	224.0×78.5	作家蔵	
72	多和田有希	torus(LA)	2015	インクジェットプリント・ニード ル、消しゴム、サンドペー パーによるスクラッチ	210.0×76.7	作家蔵	
61	杉本博司	放電場131	2009	銀塩写真	60.9×50.8	Courtesy of Gallery Koyanagi	
62	杉本博司	放電場132	2009	銀塩写真	60.9×50.8	Courtesy of Gallery Koyanagi	
63	杉本博司	放電場138	2009	銀塩写真	60.9×50.8	Courtesy of Gallery Koyanagi	
64	杉本博司	放電場164	2009	銀塩写真	60.9×50.8	Courtesy of Gallery Koyanagi	
65	杉本博司	放電場167	2009	銀塩写真	60.9×50.8	Courtesy of Gallery Koyanagi	
66	杉本博司	放電場226	2009	銀塩写真	60.9×50.8	Courtesy of Gallery Koyanagi	
67		雷神	鎌倉時代	木造着色、玉眼	60.0×50.0× 34.0	公益財団法人 小田原文化財団	
68	タムラサトル	100の白熱灯のための接点 #4	2017	白熱灯、配線、鉄、木、 他	可変	作家蔵	
69	小野田賢三	Band Wagon	2017	木箱の中に楽器、コン ピューター、鏡、レンズ、 オーディオ装置その他、 MAX6プログラミング言語 により制作した映像 制作協力:村上雅紀、ア カネデザイン事務所	85.0×95.0× 145.0(木箱)	作家蔵	

◎印刷物・会場作成物

・図録 B5判変型(21.5×17.5cm) 60頁

内容:

謝辞

目次

ごあいさつ

カミナリとアート 雷という気象現象からアートを考える(熊谷ゆう子)

章解説 出品作品図版 作品解説

作家略歴

出品リスト

執筆:熊谷ゆう子、佐原しおり(群馬県立館林美術館学芸員)

編集:熊谷ゆう子

デザイン:栗原幸治(クリ・ラボ)

制作:株式会社 グレートクー

発行:群馬県立館林美術館

発行日:2017年7月15日

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド 6面蛇腹折り、18.2×12.8cm

編集・発行:群馬県立館林美術館

デザイン:栗原幸治(クリ・ラボ)

制作:株式会社 グレートクー

・パネル

挨拶1枚、章解説3枚

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・朝日新聞

7.20

「カミナリ 表現多様に 怖い楽しい 館林で企画展」*

・朝日ぐんま

8.18

「館林美術館で9月3日まで 上州名物「カミナリ」テーマの作品ズラリ」

〈涼しい・楽しい!夏のミュージアムへ〉

・おおたタイムス

6.10

「カミナリとアート 光/電気/神様 7月15日(土)~9月3日(日)まで群馬県立館林美術館で開催される。」

・産経新聞

8.24

「カミナリとアート 創造力を刺激する 上州名物」*

・上毛新聞

7.16

「上州名物の雷テーマ 館林美術館で企画展」

7.25

「カミナリとアート」展より① 青木 豊《ゼウスの雷槌》雷雲を追い各地で撮影〈アートを愉しむ〉*

7.26

「カミナリとアート」展より② 川端 龍子《怒る富士》存在感ある巨大な絵画〈アートを愉しむ〉*

7.27

「カミナリとアート」展より③ 河鍋 晁斎《風神雷神図》神々の姿を親しみ深く〈アートを愉しむ〉*

7.28

「カミナリとアート」展より④ 福田 美蘭《大津絵-雷光》躍動感ある構図と表情〈アートを愉しむ〉*

7.29

「カミナリとアート」展より⑤ TOCHCA《PiKAPiKA Tryout # TATEBAYASHI》作品制作に鑑賞者参加〈アートを愉しむ〉*

7.31

「写真削って幻想世界 美術館で体験講座」*

8.8

「館林美術館で企画展 絵画や映像で多彩に 創作を刺激する雷」*

・上毛新聞 シヤトル

7.20

「夏の企画展「カミナリとアート」「雷神」どこか親しみ「たてびアート散歩」*

8.17

「群馬県立館林美術館 夏の企画展「カミナリとアート」日本画から体験型まで」〈たてびアート散歩〉*

・東京新聞

8.28

「雷アート 館林で展覧会 切り口・新旧 作品さまざま」*

・読売新聞

7.21

「カミナリとアート」〈ギャラリー〉

・群馬よみうりピバ! アミーゴ

7.7

「雷をテーマに集めた美術展 館林美術館「カミナリとアート」展 15日から」*

・両毛新聞

7.15

「カミナリとアート 光/電気/神さま 群馬県立館林美術館」*

[定期刊行物]

・月刊アートコレクターズ

7月号

「カミナリとアート 光／電気／神さま」〈日本列島縦断 夏の展覧会完全ガイド〉

・いけ花 龍生

8月号

「カミナリとアート 光／電気／神さま 雷にまつわる表現いろいろ」〈展覧会情報〉

・小原流 挿花

7月号

「カミナリとアート 光／電気／神さま」〈pick up〉

・月刊書道界

8月号

「カミナリとアート 光／電気／神さま」*

・美術の窓

8月号

「カミナリとアート 光／電気／神さま」〈親子で見たい！夏休みの展覧会〉

・日本カメラ

9月号

「恐くて、美しくて刺激的！雷をさまざまなアプローチで表現した展覧会「カミナリとアート」が開催中」〈NEWS EXPRESS〉

・raifu

7月号

「群馬県立館林美術館」〈Art&StageEvent〉

8月号

「上州名物“雷”をテーマにした企画展」〈Event in Gunma〉

[ラジオ]

・エフエム群馬

7.24

「企画展示「カミナリとアート 光／電気／神さま」〈ぐんま情報トッピング〉

・FM桐生

7.13

「企画展示「カミナリとアート 光／電気／神さま」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

・FM太郎

7.20

「企画展示「カミナリとアート 光／電気／神さま」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

[テレビ]

・NHK

7.20

「雷をテーマに展示会」〈ほっとぐんま640〉

・群馬テレビ

7.20

「夏の名物「雷」をテーマに企画展」〈news eye 8〉

◎関連事業

・アーティスト・トーク

7.15 青木豊、TOCHKA、小野田賢三

7.29 多和田有希、タムラサトル

8.26 木村崇人

・館長レクチャー「風神雷神の美術」

8.6

講師：佐々木正直(当館館長)

・ワークショップ

7.30

「写真を彫刻してみよう」

講師：多和田有希

8.26

「みんな出前調理人」

講師：木村崇人

・学芸員による作品解説会

7.23、8.22

・たてび☆びじゅつ部

8.19

「雷絵馬をつくろう」

・たてび☆キッズウォーク

7.22、8.5



展示室2



展示室2



展示室3



展示室4

3. 鹿島茂コレクション フランス絵本の世界 - KawaiiとB.D. (バンド・デシネ)の起源

会期 平成29年9月23日(土)～12月24日(日)
 会場 展示室2、3、4
 主催 群馬県立館林美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
 協賛 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網
 後援 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本協力
 協力 ノエマ、(一社)群馬日仏協会
 観覧料 一般820(650)円 大高生410(320)円
 ()内は、20名以上の団体割引料金

フランス文学者の鹿島茂氏の所蔵する膨大な数の西洋古書・版画より、これまで秘蔵されてきたフランスの絵本コレクションを初公開する展覧会。

フランスにおいて子どものための本が発達するのは19世紀半ばである。その立役者となる名編集者エッツェルは、ジュール・ヴェルヌの「驚異の旅」シリーズ、ギュスターヴ・ドレの『ペロー童話集』など、児童書の傑作を世に送り出した。エッツェルはまた、スタールの筆名で自らも執筆し、お気に入りの画家ロレンツ・フルリックに多く絵を描かせる。鹿島氏のエッツェル・コレク

ションは、フルリックが愛らしい子どもたちの姿を描いた「リリちゃん」シリーズが特に充実したものとなっている。

世紀の変わり目は、絵本の世界にも変化がもたらされる。豊かな色彩の挿絵が主役となっていく世紀末、モーリス・ブテ・ド・モンヴェルは、端正で洗練された美しい絵本を生んだ。20世紀に入ると、風刺雑誌で頭角を現した挿絵画家の中から、アンドレ・エレがフランス絵本に斬新さとモダンを吹き込む一方、バンジャマン・ラビエは、人間の顔をした動物たちを躍動させ、漫画(バンド・デシネ)とアニメーションへの道を開いた。

さらに本展では、1920～30年代に生まれ、今日まで愛され続ける「ぞうのババール」シリーズや、ロシア出身のナタリー・パラらが手がけた「パール・カストール文庫」の造形的な遊び絵本への展開も紹介。

鹿島氏の250点を超える豊富なコレクションが一堂に会し、フランス絵本の黄金時代を迎える貴重な機会となった。

会期中は、鹿島茂氏による記念講演会に加え、出品作品から選ばれた絵本のフランス語による読み聞かせ、楽譜絵本の歌とピアノによるコンサートを親子向けのイベントとして開催した。



ポスター



図録



ジュニアガイド

出品目録

I 章 子どものための絵本—19世紀の雑誌・絵本と民衆版画

No.	著者名	画家名	作品名	出版年	技法	寸法 (cm)
1	アルノー・ベルカン	アントワーヌ・ボレル	『ラミ・デ・ザンファン(子どもの友)』	1822年に刊行されたその復刊版(初版は1782-83年)	エッチング	12.8×9.0、 20.2×13.8
2	ヴィクトル・ユゴー、テオフィル・ゴーティエ、アレクサンドル・デュマ他	ガヴァルニ、オノレ・ドーミエ、J.-J.グランヴィール	『ジュルナル・デ・ザンファン(子ども新聞)』	1832-36	エッチング	27.0×17.0
3			メリュエイヌ社 子ども叢書	1855-56、1858-60	エッチング	14.2×9.3
4	アレクサンドル・ド・サイエ	アレクサンドル・ド・サイエ	『子どもたちの自画像、あるいは生徒たちに与えられた作文のテーマ』	1841	リトグラフ(挿図)、エッチング(ヴィニエツト)	26.0×17.0
5	アレクサンドル・ド・サイエ	アレクサンドル・ド・サイエ	『子どもたちの自画像—少女たちの職業別性格とその素顔』	1859(初版はデセゼール出版による1842年)	リトグラフ(挿図)、エッチング(ヴィニエツト)	23.6×15.0
6			『ラ・フォンテーヌの寓話』(民衆版画)		リトグラフ	27.3×36.3
7			『大文字のアルファベ』(エピナル版画)	19世紀後半	リトグラフ	15.8×11.8
8			『長靴をはいたネコ』(ボン=タ=ムッソン版画、青色シリーズ)	19世紀末	リトグラフ	16.1×11.2

II 章 子どもの本の新時代

I 節 エッツェルの登場—児童図書出版への情熱

1	ジョナサン・スウィフト	J.-J.グランヴィール	『ガリヴァー旅行記』	1838(2巻本)	木口木版	17.0×10.0
2	ジャン・ド・ラ・フォンテーヌ	J.-J.グランヴィール	『ラ・フォンテーヌの寓話』	1838-40	木口木版	22.8×14.8
3	P.-J.スタール、バルザック、シャルル・ノディエ、ジョルジュ・サンド他	J.-J.グランヴィール	『動物たちの私生活・公生活情景』	1842(2巻本)	木口木版、手彩色	26.0×17.0
4			書店用ポスター「グランヴィールの『ラ・フォンテーヌの寓話』」	1887	リトグラフ	41.0×56.0
5			書店用ポスター「グランヴィールの『動物たちの私生活・公生活情景』」	1867	リトグラフ	74.0×52.0
6	フェヌロン、フロリアン、ラ・フォンテーヌ、バルザック、P.-J.スタール他	ジェラルド・セガン、メッソニエ、J.-J.グランヴィール他	『小さな子どもたちのための本—新しいアルファベ』	1843	木口木版	19.8×14.0
7	P.-J.スタール	ベルタル	『親指トムの冒険』	1878年の再版(初版は1844年)	木口木版	19.7×14.0
8	ジョルジュ・サンド	モーリス・サンド	『本当のグリブイユの物語』	1880年の再版(初版は1851年)		19.5×14.3

II 節 エッツェルの活躍—児童文学の傑作の誕生

9			『スレーヌ・デ・ザンファン(子どもの週間)』	1857、1858	木口木版	28.8×19.5
10	ジャン・マセ、P.-J.スタール、ジュール・ヴェルヌ他	ウジェーヌ・フロマン、ロレンツ・フルリク、ベルタル、ガヴァルニ、トニー・ジョアノ他	『マガザン・デデュカシオン・エ・ド・レクレアシオン(教育と娯楽の雑誌)』	1864-73	木口木版	27.8×19.0
11		ジョルジュ・ルー	ポスター「1890年のお年玉」(『パリ・イリュストレ』1889年12月21日号付録)	1889	リトグラフ	63.8×46.3
12		アンドレ・ジル	『今日の人々』より	1880-81年頃	リトグラフ	29.4×20.5
13	シャルル・ペロー	ギユスターヴ・ドレ	『ペロー童話集』	1867(初版は1862年)	木口木版	37.2×29.5

No.	著者名	画家名	作品名	出版年	技法	寸法 (cm)
14	ジャン・ド・ラ・フォンテーヌ	ギュスターヴ・ドレ	『ラ・フォンテーヌの寓話』	1868 (2巻組)	木口木版	28.2×19.5
15	ジュール・ヴェルヌ	エドゥアール・リウ、アンリ・ド・モントー	『気球に乗って五週間』	1892-1906年の間 (初版は1863年、挿絵入り初版は1865年)	木口木版、手彩色	27.2×18.5
16	ジュール・ヴェルヌ	エドゥアール・リウ、アルフォンス・ド・ヌヴィル	『海底二万里』	1910年頃 (初版は1869年)	木口木版、手彩色	28.2×18.2
17	ジュール・ヴェルヌ	アンリ・ド・モントー	『地球から月へ(月世界旅行)』	初版は1865年	木口木版	27.3×18.0
18	ジュール・ヴェルヌ	アルフォンス・ド・ヌヴィル、エミール・バヤール	『月を回って(月世界探検)』	初版は1869年	木口木版	27.5×17.7
19	ジュール・ヴェルヌ	「八十日間世界一周」アルフォンス・ド・ヌヴィル、レオン・ブネット 「オクス博士の珍発明」ロレンツ・フルリック 「ザカリウス親方」テオフィル・シュレーレル 「空中のドラマ」エミール・バヤール、アドリアン・マリー他	『八十日間世界一周／オクス博士』	1910年頃 (「八十日間世界一周」初版は1873年、「オクス博士」初版は1874年)	木口木版、手彩色	28.8×19.0
20			「八十日間世界一周すごろく」を模したエッツェル書店のポスター	1889	木口木版	66.5×76.0
21	ジュール・ヴェルヌ	レオン・ブネット	『スクリュエ島(動く人工島)』	1895	木口木版、手彩色	28.3×18.5
22	ヴィクトル・ユゴー	ギュスターヴ・ブリオン エミール・バヤール (「コゼット」)、 ギュスターヴ・ブリオン (「ジャン・バルジャン」)	『レ・ミゼラブル』 『レ・ミゼラブル』	1865年版 1879-82年版 (初版は1861年)	木口木版 木口木版	
23	エクトール・マロ	エミール・バヤール	『家なき子』	1880 (初版は1878年)	木口木版	28.0×18.5
24	エクトール・マロ	アンリ・ラノス	『家なき娘』	1893	木口木版	37.0×27.5

III節 作家P.-J.スタールと挿絵画家ロレンツ・フルリック

25	ジャン・マセ	ロレンツ・フルリック	『一口のパンの話』	初版は1861年	木口木版	28.3×19.0
26	ジャン・マセ	ロレンツ・フルリック	『胃に仕える者たち』	初版は1866年 (?)	木口木版	24.5×17.2
27	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『食いしん坊の王国』	初版は1866年	木口木版、手彩色	27.5×22.5
28	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『ボントンおばさん』	初版は1893年 (?)	木口木版、手彩色	27.5×18.7
29	あるパパ(P.-J.スタール)	ロレンツ・フルリック	『リリちゃんの日』	初版は1862年	木口木版	28.0×19.5
30	あるパパ(P.-J.スタール)	ロレンツ・フルリック	『リリちゃん田舎へ行く』	初版はエッツェル書店による1865年	木口木版	25.0×17.7
31	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『リリちゃん、温泉に行く』	初版は1878年	木口木版	27.0×18.0
32	ジャン・マセ、フェルディナン・ド・グラモン	ロレンツ・フルリック	『リリちゃんの算数』	初版は1866年	木口木版、手彩色	27.0×18.0
33	ジャン・マセ	ロレンツ・フルリック	『リリちゃんの文法』	初版は1878年 (?)	木口木版	27.5×18.7
34	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『リリちゃんといとこのリュシアンの旅と発見』	初版は1866年	木口木版	25.0×18.0
35	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『リリちゃんといとこのリュシアン初陣』	初版は1868年	木口木版	27.7×18.5
36	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『リリちゃんの世界一周旅行』	初版は1867年	木口木版	27.3×18.3
37	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『リリちゃんのお人形』	初版は1887年	木口木版	27.5×18.5
38	あるパパ(P.-J.スタール)	ロレンツ・フルリック	『リリちゃん、パリに行く』	初版は1890年	木口木版	27.6×18.5
39	あるパパ(P.-J.スタール)	ロレンツ・フルリック	『一家の主婦リリちゃん』	初版は1901年	木口木版	27.4×18.7

No.	著者名	画家名	作品名	出版年	技法	寸法(cm)
40	あるパパ(P.-J.スタール)	ロレンツ・フルリック	『リリちゃんと友達』	初版は1903年	木口木版	27.5×18.5
41	あるパパ(P.-J.スタール)	ロレンツ・フルリック	『パパの洗礼名の祝日』	初版は1898年 (?)	木口木版	28.5×19.0
42	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『おやすみなさい、パパ』	初版は1871年	木口木版	28.0×18.5
43	あるパパ(P.-J.スタール)	ロレンツ・フルリック	『パパはご旅行中』	初版は1893年 (?)	木口木版	27.3×18.7
44	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『お祖父さんの命令と禁止』	初版は1884年	木口木版	27.5×18.7
45	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『双子』	初版は1883年	木口木版	28.5×18.7
46	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『だだっ子の物語』	初版は1868年	木口木版	28.3×19.0
47	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『生意気ちゃん』	初版は1868年	木口木版	27.6×22.0
48	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『大きなジャンヌのサラダ』	初版は1879年	木口木版	27.0×18.0
49	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『クリーム・オ・ショコラ』	初版は1880年	木口木版	28.0×19.0
50	P.-J.スタール、マルコ・ウオヴゾック	ロレンツ・フルリック	『シベリアの熊とキャットル・エパングル(4本のピン留め)ちゃん』	初版は1872年	木口木版	27.3×18.7
51	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『すばしっこい鹿—小さな野蛮人の話』	初版は1876年	木口木版	27.0×18.3
52	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『小さな姉と小さなママ』	初版は1878年	木口木版	28.2×18.6
53	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『ジュジュール君と姉のマリー』	初版は1878年	木口木版	27.8×18.5
54	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『初めての犬と初めてのズボン』	初版は1881年	木口木版	27.4×18.2
55	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『ジュジュール君の庭』	初版は1882年	木口木版	27.5×18.3
56	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『おかしな犬』	初版は1882年	木口木版	27.3×18.5
57	あるパパ(P.-J.スタール)	ロレンツ・フルリック	『ジュジュール君の初めての学校と野外』	初版は1880年 (?)	木口木版	27.7×18.8
58	あるパパ(P.-J.スタール)	ロレンツ・フルリック	『ジュジュール君の就職』	1922(初版は 1894年)	木口木版	25.2×18.0
59	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『セザール君』	初版は1869年 (?)	多色凸版	28.0×21.5
60	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『不機嫌なジャン』	初版は1868年	多色凸版	27.5×22.0
61	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『おしゃべりさん』	初版は1869年	多色凸版	27.5×22.0
62	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『空威張り屋のエクートル』	初版は1869年	多色凸版	27.0×21.5
63	P.-J.スタール	ロレンツ・フルリック	『お家でサーカス』	初版は1874年	多色凸版	27.5×22.5
64		ロレンツ・フルリック	『塔よ、いまに見ておれ、倒してくれるぞ』原画	1878	鉛筆、水彩	12.5×9.8
65		ロレンツ・フルリック	『塔よ、いまに見ておれ、倒してくれるぞ』	1878	多色凸版	23.0×27.5
66		ロレンツ・フルリック	『ダゴバール王』	1878-82年の間	多色凸版	27.2×21.5
67		ロレンツ・フルリック	『ミシェルおばさん』	1878-82年の間	多色凸版	26.0×20.8
68		ロレンツ・フルリック	『月の光に』	1878-82年の間	多色凸版	26.2×20.5
69		ロレンツ・フルリック	『ジロフレ、ジロフラ』	1878-82年の間	多色凸版	27.5×21.5
70		ロレンツ・フルリック	『昔むかし、あるところに、1人の羊飼いの少女がおりました』	1878-82年の間	多色凸版	27.3×22.0
71		ロレンツ・フルリック	『カデ・ルーセル』	1878-82年の間	多色凸版	27.5×22.0

III章 モーリス・ブテ・ド・モンヴェール—フランスの子どものための絵本

1		モーリス・ブテ・ド・モンヴェール他	『サン・ニコラ』	1880、1886、 1913	写真製版凹版	25.0×18.8
2		作者不詳 (画面左下にF.S.のモノグラム)	『サン・ニコラ』10周年記念ポスター	1889	リトグラフ	65.2×58.8
3	ルイ・ラティスボンヌ	モーリス・ブテ・ド・モンヴェール	『子ども喜劇』	1881	写真製版凹版	18.0×12.0
4	ルメルシエ・ド・ヌヴィール	モーリス・ブテ・ド・モンヴェール	『子どもの操り人形』	1881	写真製版凹版	25.5×18.0
5	J.アンソー	モーリス・ブテ・ド・モンヴェール	『トロンペットの冒険と生涯』	初版は1883年	写真製版凹版	24.0×18.7
6		モーリス・ブテ・ド・モンヴェール	『幼い子どもたちのための古い歌とロンド』	1883	リトグラフ	23.5×27.7
7		モーリス・ブテ・ド・モンヴェール	『幼いフランスの子どもたちのためのフランスの歌』	初版は1884年	リトグラフ	23.0×27.5

No.	著者名	画家名	作品名	出版年	技法	寸法(cm)
8	「ウジェーヌ叔父さん」	モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	『子どもの正しい礼儀作法』	1887	リトグラフ	23.0×27.2
9	アナトール・フランス	モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	『われらの子どもたち』/『少年少女』	1887	リトグラフ	32.2×25.5
10	ジャン・ド・ラ・フォンテーヌ	モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	『子どものためのラ・フォンテーヌ寓話選』	1888	リトグラフ	23.0×27.0
11	フェルディナン・ファール	モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	『グザヴィエール』	1890	写真製版凹版	33.0×25.0
12	シャルル・セガール	モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	『ギユリ王の王位継承』	1886	写真製版凹版	25.3×17.5
13	リュシアン・ピアール	モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	『わたしが小さかった頃』	1886	写真製版凹版	24.2×19.0
14	ジョルジュ・ガッシ・デ・ブリュリ	モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	『パトラン先生の笑劇』	1887	写真製版凹版	29.3×21.5
15	アドリエンス・ピアッツィ	モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	『サン・スーシ(のんき者)』	初版は1895年 (鹿島コレクションは第9版)	写真製版凹版	27.0×17.7
16	モーリス・ブテ・ド・モン ヴェル	モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	『スザンナのオークション』	1923	写真製版凹版	16.5×12.0
17	モーリス・ブテ・ド・モン ヴェル	モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	『ジャンヌ・ダルク』	1896	亜鉛版写真製 版	34.5×43.2× 2.7(豪華版外 箱) 24.2×32.3 (布装丁本)
18		モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	『親指姫』のためのポスター	1891	リトグラフ	30.9×44.3
19		モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	「パリ医学大学ピエール博士の歯磨き粉」ポスター	1894	リトグラフ	16.0×11.0
20		モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	『ベル・ジャルディニエール』カレンダーより「1月 あけましておめでと	1898	リトグラフ	25.0×20.0
21		モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	『ガゼット・デュ・ボントン』1912年 No.2より「クロードと妹:毛裏付き	1912	ポシヨワール	16.5×13.5
22		モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	『フランス水彩画協会展』カタログ		リトグラフ	23.5×12.0
23		モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	扇面画		オフセット	20.3×29.2
24		モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	幻灯機のためのガラス絵		透明板ガラスに 彩色	12枚、 各6.8×22.0
		モーリス・ブテ・ド・モンヴェ ル	原画		ペン、インク	
			「モーリス・ブテ・ド・モンヴェル」(雑誌『スケッチ』1896年12月9日号) モーリス・ブテ・ド・モンヴェル 肖像(出典不明)			

IV章 20世紀の雑誌とイラストレーターの活躍

I節 20世紀初頭の雑誌とバンド・デシネ

1			『スメーヌ・ド・シュゼット』	1908、1920-24、 1930-32、30周 年記念号(1933 年12月-1934年 5月)	リトグラフ	31.3×22.0
2			『モン・ジュルナル』	1908-09、1910- 11、1913-14	リトグラフ	25.0×16.2
3			『レ・ザンファン・ド・フランス』	1928、1929	オフセット	29.0×21.5

II節 アンドレ・エレーモダンへの道

No.	著者名	画家名	作品名	出版年	技法	寸法 (cm)
4		アンドレ・エレ	『リール』	1910年5月21日号、1908年1月25日号	リトグラフ	30.0×23.0
5		アンドレ・エレ	『スーリール』	1907年2月9日号	リトグラフ	30.7×24.2
6-1	アンドレ・エレ	アンドレ・エレ	『大きな動物、小さな動物』	1920(初版は1912年)	リトグラフ、ポシヨワール	41.0×31.0
6-2	アンドレ・エレ	アンドレ・エレ	『ノアの箱舟』	1925	リトグラフ	32.2×24.8
7		アンドレ・エレ	『おもちゃ箱』	1913	リトグラフ	24.8×33.0
8	ジャン・ド・ラ・フォンテーヌ	アンドレ・エレ	『ラ・フォンテーヌの寓話』	1946(初版は1922年)	リトグラフ	32.0×24.6
9	アンドレ・エレ	アンドレ・エレ	『滑稽なイメージ(映画)』	1931(初版は1923年)	リトグラフ	30.2×23.0
10	マルスリーヌ・デボルド=ヴァルモール	アンドレ・エレ	『子どもたちの本』	1924	リトグラフ	32.2×24.5
11	ガストン・シエロ(序文)、アンドレ・エレ(本文)	アンドレ・エレ	『80ページ世界一周』	1927	リトグラフ	27.0×22.0
12	アンドレ・エレ	アンドレ・エレ	『ママ……小さな船は……』	1928	リトグラフ	27.6×22.5
13	トリストラン・ドレーム	アンドレ・エレ	『少年パタシュール』	1930	リトグラフ	31.8×24.3
14	ロジェ・デヴィーニュ	アンドレ・エレ	『世界の最も美しい12の物語』	初版 1932、再版 1947	リトグラフ	24.2×19.3
15	ジャン=ピエール・クラリス・ド・フロリアン	アンドレ・エレ	『フロリアンの寓話』	1948	リトグラフ	32.1×25.0
16		アンドレ・エレ	ポスター「国債募集」	1920	リトグラフ	45.0×35.4
17	エルマン・デュビュ	アンドレ・エレ(表紙)	『もうすぐ読めるよ』		リトグラフ	23.0×18.0
18		アンドレ・エレ	『ブルターニュの港(ぬり絵、切り絵)』		リトグラフ	18.3×27.1

III節 バンジャマン・ラビエ—動物たちの動く絵本

19			『リール』1897年7月17日号「革命記念日」	1897	リトグラフ	30.0×23.0
20			『ペル=メル』1909年3月14日号「父の先見の明」	1908	リトグラフ	30.0×23.0
21			『トゥッシュ・ア・トゥ』1911年2月15日、5月15日号 表紙	1911	リトグラフ	30.0×23.0
22			『ジュネス・イリュストレ』	1906	オフセット	38.5×27.5
23			『アルバム』1902年1月お年玉特集号「バンジャマン・ラビエ自身によって語られたプライベートなバンジャマン・ラビエ」	1902	リトグラフ	32.6×25.0
24	フレッド・イリイ	バンジャマン・ラビエ	『いたずらフィフィ』	1902	オフセット	32.5×25.0
25	ロドルフ・ブランジェ	バンジャマン・ラビエ	『キャラメル—あるサル物語』	[初版]1903 [再版]1927	オフセット	32.5×25.5
26	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『私の話を聞いて！』	1905	リトグラフ	30.5×23.0
27	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『里子に出されたモーリス』	1905	オフセット	32.5×25.2
28	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『ピエールとリゼット』	1906	オフセット	32.5×24.5
29	ジャン・ド・ラ・フォンテーヌ	バンジャマン・ラビエ	『ラ・フォンテーヌの寓話』	1906(2巻組および豪華装丁版1巻本)	オフセット	31.8×24.7
30	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『あるイヌの災難』	1907	オフセット	31.7×25.0
31	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『あるネコの大騒ぎ』	1908(1958年に別の表紙で再版)	オフセット	30.9×24.3
32		バンジャマン・ラビエ	『動物たちの人生の小さな不幸』	1908	リトグラフ	22.3×29.8
33		バンジャマン・ラビエ	『動物たちの私生活の情景』	1922、1926(初版は1909年)	リトグラフ	22.6×31.0
34-1	ジョルジュ=ルイ・ルクレール・ド・ビュフォン	バンジャマン・ラビエ	『バンジャマン・ラビエのビュフォン』	1913	オフセット	32.3×25.9
34-2	ジョルジュ=ルイ・ルクレール・ド・ビュフォン	バンジャマン・ラビエ	『バンジャマン・ラビエのビュフォン選集』	1932(初版は1924年)	オフセット	30.3×23.0

No.	著者名	画家名	作品名	出版年	技法	寸法 (cm)
35	ジャンヌ・ルロワ=アレ	バンジャマン・ラビエ	『キツネ物語』	1909	オフセット	31.2×24.5
36		バンジャマン・ラビエ	『アルファベ』	1911	オフセット	31.5×23.9
37	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『マルタンとジョッコ』	1912	オフセット	31.0×24.3
38	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『ウサギのジャーノと仲間』	1913	オフセット	31.5×24.5
39	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『アゾールとミスティグリ』	1911 (1956年再版)	オフセット	29.5×24.5
40	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	「ジェデオン」シリーズ		オフセット	
40 -1			『ジェデオン』	1926 (初版は1923年)		32.2×24.7、 29.5×22.5
40 -2			『スポーツマン、ジェデオン』	1924		32.0×24.0
40 -3			『ブラシッドとジェデオン』	1926		32.0×24.5
40 -4			『ギャング団のボス、ジェデオン』	1931		32.0×24.0
40 -5			『ジェデオンは良い男の子』	1934		32.0×24.0
40 -6			『偉大なるジェデオン』	1938		31.0×24.0
41	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『緑色のウサギのコント集』	1926	オフセット	27.5×19.5
42	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『黄色のイヌのコント集』	1927	オフセット	27.3×19.0
43	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『青いネズミのコント集』	1930	オフセット	27.1×19.0
44	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『A.E.I.O.U.』	1927	オフセット	27.0×18.5
45	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『砂漠の王様オスカール』	1928	オフセット	21.5×27.5
46	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『シャルロは変な犬』	1928	オフセット	21.5×27.5
47	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『野良猫ラブグリ』	1929	オフセット	21.5×27.5
48	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『ピックとピコロ』	1929	オフセット	21.5×13.5
49	ジュール・レヴィ	バンジャマン・ラビエ	『人間から遠く離れて』	1930	オフセット	18.8×12.0
50	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『アナートル』	1935	オフセット	31.1×24.5
51	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『シメオンの物語』	1935	オフセット	32.0×24.7
52	ジャン=ピエール・クラリス・ド・フロリアン	バンジャマン・ラビエ	『フロリアンの寓話』	1936	オフセット	35.0×27.3
53	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『動物の歴史』	1945-46	オフセット	21.4×27.4
54	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『ジミー』	1950	オフセット	31.2×24.5
55	バンジャマン・ラビエ	バンジャマン・ラビエ	『緑色のネズミの冒険』	1950	オフセット	31.3×24.0
56	バンジャマン・ラビエにもとづく	バンジャマン・ラビエにもとづく	「アルバム・ローズ」		オフセット	20.0×16.0
56 -2			『優しいウサギ、シンプル』	1952		
56 -3			『高慢なネコ、ミスティグリ』	1953		
56 -4			『そそっかしいイヌ、メドル』	1953		
57	バンジャマン・ラビエにもとづく	バンジャマン・ラビエにもとづく	『ミスティグリー家』	1954	オフセット	27.0×21.8
58	バンジャマン・ラビエにもとづく	バンジャマン・ラビエにもとづく	『セルボレ』	1954	オフセット	27.0×21.0
59	バンジャマン・ラビエにもとづく	バンジャマン・ラビエにもとづく	『ボビー』	1955	オフセット	27.0×21.0
60	バンジャマン・ラビエにもとづく	バンジャマン・ラビエにもとづく	『ニックとトム』	1955	オフセット	27.0×21.0
61	バンジャマン・ラビエにもとづく	バンジャマン・ラビエにもとづく	学校教材用ポスター			
61 -1			『「動く」ラ・フォンテーヌの寓話』より「キツネとヤギ」	1914	リトグラフ	100.0×40.0
61 -2			『キツネの冒険』(4点)	1935	リトグラフ	46.0×100.0
62		バンジャマン・ラビエ	喜歌劇『バンジャマン』のプログラ	1923	リトグラフ	17.5×12.8
63		バンジャマン・ラビエ	エピナル版画 「オオカミ、ウサギ、そして絨毯をたく人」	1900年代	リトグラフ	19.6×29.5
64			ボン・マルシェのポストカード 「聡明な犬」		オフセット	11.2×15.1
65			ボン・マルシェのアジャンダ (備忘録)	1912	オフセット	28.5×19.7
66		バンジャマン・ラビエ	「笑う牛」の広告(『イラストラシオン』1929年12月7日号)	1929	オフセット	40.2×29.5
67		バンジャマン・ラビエ	「イヌとカタツムリ」「2匹のウサギ」		ポシヨワール	33.3×25.3

No.	著者名	画家名	作品名	出版年	技法	寸法(cm)
68		バンジャマン・ラビエ	「笑う牛」ノートカバー		リトグラフ	23.8×18.8
69		バンジャマン・ラビエ	ちいさな聖人カレンダー	1926	リトグラフ	6.2×3.7
70		バンジャマン・ラビエ	「ジュヴロ」の広告(『イリュストラシオン』1927年11月19日号)	1927	リトグラフ	18.1×14.2
71		バンジャマン・ラビエ	原画		鉛筆	11.4×14.6
72		バンジャマン・ラビエ	ゴヤール社の犬用製品「ル・シック・デュ・シアン」の広告(『ヴィ・パリジェンヌ』1910年12月10日号)	1910	オフセット	19.5×22.5
73		バンジャマン・ラビエ	陶器皿	1920年以降	陶器	9枚、 直径19.5
74		バンジャマン・ラビエ	「フェリエール社のリン酸塩補助食品」すごろく	1906	オフセット	40.0×55.8
75		バンジャマン・ラビエ	ペンケース 「読み聞かせをする女の子」		木、彩色	6.0×20.5× 2.7
76			アニメーション			
76 -1		バンジャマン・ラビエ	『振り返ったしっぽ』	1922年以降	9.5mmフィルム	
76 -2		バンジャマン・ラビエ	『動物たち』	1922年以降	9.5mmフィルム	

V章 フランス絵本の人気シリーズ

I節 『ぞうのババール』

1	ジャン・ド・ブリュノフ	ジャン・ド・ブリュノフ	『ぞうのババール』	1931	オフセット	37.0×30.0
2	ジャン・ド・ブリュノフ	ジャン・ド・ブリュノフ	『ババールのしんこんりょこう』	1932	オフセット	37.0×30.0
3	ジャン・ド・ブリュノフ	ジャン・ド・ブリュノフ	『おうさまババール』	1933	オフセット	37.0×30.0
4	ジャン・ド・ブリュノフ	ジャン・ド・ブリュノフ	『ゼフィールのなつやすみ』	1936	オフセット (書籍)	36.5×27.0
5	ジャン・ド・ブリュノフ	ジャン・ド・ブリュノフ	『ババールのこどもたち』より	1938	オフセット	36.0×26.2、 35.0×52.0
	ロラン・ド・ブリュノフ	ロラン・ド・ブリュノフ	『ババールのはくらんかい』より	1938	オフセット	35.0×52.0
	ロラン・ド・ブリュノフ	ロラン・ド・ブリュノフ	『ババールといたずらアルチュール』より	1946	オフセット	35.0×52.0

II節 ナタリー・パランと「ペール・カストール文庫」

6	アンドレ・ブクレール	ナタリー・パラン	『わたしのねこ』	1930 (外箱をのぞく)	リトグラフ、 ポショワール(彩色部分)	37.8×30.0
7		ナタリー・パラン	『カードゲーム』	1938	オフセット	箱:17.0×17.0 ×1.3、説明 書:14.0× 14.0、カード (大):16.0× 16.0、カード (小):7.0×7.0
8	ローズ・セリ	ナタリー・パラン、エレース・ゲルティック	『マジック・アルバム』	1932	リトグラフ	23.3×21.5
9		ナタリー・パラン(絵・構成)	『切る』	1931	リトグラフ	28.0×24.2
10		ナタリー・パラン(構成)	『丸と四角』	2001年復刻版 (初版は1932年)	オフセット	28.0×24.1
11		ナタリー・パラン	『こんにちは こんばんは』	1934	リトグラフ	21.0×21.1
12	ローズ・セリ	ナタリー・パラン(絵・構成)	『早く行きましょう』	1933	リトグラフ	28.2×24.1
13		ナタリー・パラン(切り抜き 図)	『切り紙』	1932	リトグラフ	27.7×24.0
14		ナタリー・パラン(絵・構成)	『ジャングルのお面』	1933	リトグラフ	28.1×24.0
15	ローズ・セリ(詩)	ナタリー・パラン	『絵遊び』	1933	リトグラフ	27.5×27.5
16		ナタリー・パラン	『自分のお店をつくりましょう』	1935	リトグラフ	28.0×24.0

No.	著者名	画家名	作品名	出版年	技法	寸法(cm)
-----	-----	-----	-----	-----	----	--------

17		ナタリー・パラン	『自分のお店をつくりましょう』の ための習作(未使用作)	1935	グアッシュ	
17 -1			『自分のお店をつくりましょう』の ための習作(未使用作)「八百屋」			15.7×18.4
17 -2			『自分のお店をつくりましょう』の ための習作(未使用作)「八百屋」			6.5×13.0
17 -3			『自分のお店をつくりましょう』の ための習作(未使用作)「八百屋」			28.0×24.0
17 -4			『自分のお店をつくりましょう』の ための習作(未使用作)「豚肉屋」			16.8×18.5
17 -5			『自分のお店をつくりましょう』の ための習作(未使用作)「豚肉屋」			26.0×22.0
18	ローズ・セリによるロシア 民話の再話	ナタリー・パラン	『バーバ・ヤーガ』	1932	リトグラフ	28.0×24.0
19	ジャン・フランソワ・プリモ	ナタリー・パラン	『数字の国のフリグレ』	1933	オフセット	32.2×25.0
20	アントン・チェーホフ	ナタリー・パラン	『カシタンカ(クリ色の犬)』	1934	リトグラフ	24.0×18.0
21	トルストイ	ナタリー・パラン	『本当の話』	1936	リトグラフ	24.8×18.9
22	マルセル・エメ	ナタリー・パラン	『アヒルとヒョウ』	1937	リトグラフ	23.8×18.0
23	マルセル・エメ	ナタリー・パラン	『クジャク』	1938	リトグラフ	23.8×18.0
24	マルセル・エメ	ナタリー・パラン	『シカとイヌ』	1938	リトグラフ	23.5×18.3
25	マルセル・エメ	ナタリー・パラン	『ハクチョウ』	1939	リトグラフ	23.5×18.3
26	マルセル・エメ	ナタリー・パラン	『ヒツジ』	1940	リトグラフ	18.2×23.9
27	マルセル・エメ	ナタリー・パラン	『絵の具箱』	1941	リトグラフ	23.0×18.0
28	マルセル・エメ	ナタリー・パラン	『メウシたち』	1942	リトグラフ	22.7×17.8
29	マルセル・エメ	ナタリー・パラン	『トンビとブタ』	1943	リトグラフ	23.0×17.8
30	マルセル・エメ	ナタリー・パラン	『ネコのあし』	1944	オフセット	23.5×17.5
31	マルセル・エメ	ナタリー・パラン	『問題』	1946	オフセット	24.0×17.3
32	マルセル・エメ	ナタリー・パラン	『イヌたち』	1948	オフセット	24.4×18.1
33	マルセル・エメ	ナタリー・パラン	『おにごっこ物語』	1949(再版1958 年)	オフセット	24.0×18.0
34	マルセル・エメ	ナタリー・パラン	『続おにごっこ物語』	1950(再版1954 年、58年)	オフセット	24.0×18.0
35	メイ・ダランソン	ナタリー・パラン	『アリ・ボロンのきれいなアザミ』	1940	リトグラフ	16.8×18.5
36	マリー・コルモン	ナタリー・パラン	『ココナツと彼の友人』	1940(再版1945 年、52年)	リトグラフ	16.3×18.5
37	ジャン・ド・ラ・フォンテーヌ	ナタリー・パラン	『ラ・フォンテーヌの寓話』	第1巻:1946、 第2巻:1947(再 版1956年)	オフセット	21.0×13.7
38	シャルル・ペギー	ナタリー・パラン	『シャルトル大聖堂での五つの祈 り』	1947(1950年、 56年)	オフセット	19.0×12.2
39	シャルル・ペギー	ナタリー・パラン	『聖女ジュヌヴィエーヴ』	1951	オフセット	19.2×12.3
40	シャルル・ペギー	ナタリー・パラン	『ジャンヌ・ダルク』	1952	オフセット	18.5×11.7
41	シャルル・ペギー	ナタリー・パラン	『最初の人間、イヴ』	1954	オフセット	19.5×12.3
42	マルセル・ベルタン	ドニーズ・マリー(ナタリー・ パラン)	『旅行小史』	1935	リトグラフ	19.0×25.3
43		ナタリー・パラン	《木と空》	1945年頃	グアッシュ	24.5×17.2
44		ナタリー・パラン	『ジャンヌ・ダルク』のための習作	1945年頃	グアッシュ	15.0×13.1
45		ナタリー・パラン	《郊外風景》		鉛筆、 グアッシュ	28.6×18.5
46		ナタリー・パラン	《郊外風景》		鉛筆、 グアッシュ	27.8×28.0
47		ナタリー・パラン	《郊外》		鉛筆	19.0×28.0
48		ナタリー・パラン	《郊外風景》	1930年代	グアッシュ	29.5×25.0
49		ナタリー・パラン	《郊外風景》	1930年代	グアッシュ	32.3×22.1
50		ナタリー・パラン	《郊外風景》	1930年代	グアッシュ	28.3×24.0
51		ナタリー・パラン	《農村風景》		グアッシュ	15.0×11.5
52	リダ	ロジャンコフスキー	『リスのパナッシュ』	1934	リトグラフ	21.0×23.0
53	リダ	ロジャンコフスキー	『野うさぎのフルー』	1935	リトグラフ	21.0×23.0
54	ルヴァ	エレヌ・ゲルティック	『わたしの好きな動物たち』	1934	リトグラフ	21.0×23.0
55	リダ	ロジャンコフスキー	『ハリネズミのキビック』	1937	リトグラフ	21.0×23.0

VI章 様々な子どもの絵本と子どものイメージ

No.	著者名	画家名	作品名	出版年	技法	寸法(cm)
1			『ベベ・ジュモーの大スゴロク』	1889	リトグラフ	69.0×48.0

2	ジュール・ルメートル	ジョップ	『ABCのかわいいお話』	1919	リトグラフ	30.0×24.8
3	モーリス・メーテルランク	アンドレ・エドゥアール・マル ティ	『青い鳥』	1945	ポショワール	20.3×14.3
4	モーリス・メーテルランク	ジョルジュ・ルバップ	『青い鳥』	1925	ポショワール、 水彩	24.0×17.0
5	アルレット&ポール・ド・ ピトレイ	アンドレ・エドゥアール・マル ティ	『聖書物語』	1938	オフセット	31.8×24.0
6	カラン	B.ボクール	『ミケットとボロの冒険』シリーズ	1935、1937	オフセット	27.0×18.2
8	セギュール伯爵夫人	マリー=マドレーヌ・フランク= ノアン	『ソフィアの災難』	1933	オフセット	20.8×15.0
9	トム・ティ	ルイ・ボワイエ	『楽しい科学—100の新実験』	初版は1892年	木口木版	20.8 × 15.0
10	アルヌー・ギャロパン	G.ニザブ	『小さな探検家の冒険』	1924-25年頃	リトグラフ	24.5 × 16.5
11	アンリ=ポール・ペクリ	アンリ=ポール・ペクリオー	『ピックとポックと自動車』	1931	リトグラフ	28.0×22.4
12	アドリアーナ・カステルヌ オーヴォ・テデスコ	P.ベルナルディーニ	『遠い宇宙の物語』	1935	オフセット	21.5×15.7
13 -1	レオポルド・ショヴォー	レオポルド・ショヴォー	『大きくなった小さな魚』	1928	リトグラフ	21.2×27.3
13 -2	レオポルド・ショヴォー	レオポルド・ショヴォー	『ロワトレの物語』	1928	リトグラフ	21.2×27.3
		ジョルジュ・ルバップ	『モード・エ・マニエール・ドージュ ルデュイ』より	1916、1918	ポショワール	27.7×18.1
		アンドレ・エドゥアール・マル ティ	タイトル不詳		ポショワール	27.7×18.1
		アンドレ・エドゥアール・マル ティ	タイトル不詳		ポショワール	45.0×31.0

◎印刷物・会場作成物

・図録 A4判変形(27.4 × 22.5 cm) 220頁

内容:

「フランス絵本文化の後発性およびそれゆえのアヴァンギャルド性について」(鹿島茂)

I章 子どものための絵本—19世紀の雑誌・絵本と民衆版画

II章 子どもの本の新時代

II章I節 エッツェルの登場—児童図書出版への情熱

II章II節 エッツェルの活躍—児童文学の傑作の誕生

「〈驚異の旅〉の挿絵画家たち」(石橋正孝)

II章III節 作家P.J.スタールと挿絵画家ロレンツ・フルリック

III章 モーリス・ブテ・ド・モンヴェル—フランスの子どものための絵本

「モーリス・ブテ・ド・モンヴェルの絵本における時代性」(松下和美)

IV章 20世紀の雑誌とイラストレーターの活躍

IV章I節 20世紀初頭の雑誌とバンド・デシネ

IV章II節 アンドレ・エレ—モダンへの道

「アール・デコとアンドレ・エルの玩具」(浜崎加織)

IV章III節 バンジャマン・ラビエ—動物たちの動く絵本

「エミール・コールとバンジャマン・ラビエ」(倉方健作)

V章 フランス絵本の人気シリーズ

V章I節 『ぞうのババール』

V章II節 ナタリー・バランと「ペール・カストール文庫」

VI章 様々な子どもの絵本と子どものイメージ

主要参考文献

企画:松下和美(群馬県立館林美術館学芸員)

浜崎加織(東京都庭園美術館)

デザイン:川添英昭

印刷・製本:株式会社アイワード

発行:株式会社青幻舎

発行日:2017年9月29日初版

2018年4月24日第二刷

・ポスター B2

・チラシ A4

デザイン:川添英昭

制作:印象社

・ジュニアガイド 蛇腹折り、51.2×12.8cm(仕上がりサイズB6)

デザイン:川添英昭(表紙)、原人社

制作:原人社

・パネル

挨拶1枚、章バナー6枚、会場配布用作品リスト

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・朝日ぐんま

11.24

「「フランス絵本の世界」展 子どもから大人まで楽しめるフランス絵本の世界」*(学芸員 松下和美)〈文化紀行〉

・おおたタイムス

8.12

「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」

・産経新聞

11.24

「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」〈開催中です!〉

12.14

「フランス 漫画へ進化」〈文化〉*

・上毛新聞

9.24

「愛らしい動物挿絵 フランス絵本展」

10.24

「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」展より① シャルル・ペロー著／ギュスターブ・ドレ絵『ペロー童話集』(1867年)より〈アートを愉しむ〉

*

10.25

「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」展より② ジュール・ベルヌ著／エミール・バヤール絵『月を回って(月世界探検)』(初版は1869年)より〈アートを愉しむ〉*

10.26

「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」展より③ アナトール・フランス著／モーリス・ブテ・ド・モンベル絵『われらの子どもたち』(1887年)より〈アートを愉しむ〉*

10.27

「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」展より④ クロード・ドビュッシー作曲／アンドレ・エレ絵『おもちゃ箱』(1913年)〈アートを愉しむ〉

*

10.28

「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」展より⑤ バンジャマン・ラビエ『アゾールとミスティグリ』(初版は1911年)〈アートを愉しむ〉*

10.29

「読み聞かせと演奏 子どもと大人でたのしむフランスの絵本と音楽」〈先どりピックアップ!〉

・上毛新聞 シャトル

10.19

「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界展「絵」発展の歴史たどる」〈たてびアート散歩〉*

・毎日新聞
10.25
「フランスの絵本は愛らしい芸術作品 鹿島茂さん、コレクション展示」＊
・読売新聞
8.28
「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」〈美連協ガイド〉
9.15
「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」
9.23
「フランスの絵本 300点公開 館林で企画展 鹿島茂さん所蔵」＊
9.28
「フランス絵本の神髄語る 来月29日 鹿島茂さん講演会」
11.18(夕刊)
「群馬県立館林美術館 フランス絵本 歴史たどる」〈名作の森へ〉＊
12.7
「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界展 上 新時代を画した本たち」
(学芸員 松下和美)＊
12.8
「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界展 中 コマ割り漫画も絵本に」
(学芸員 松下和美)＊
12.10
「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界展 下 人や世界 シニカルに」
(学芸員 松下和美)＊
1.28
「仏の絵本 2か国語で朗読」＊
・ビバ！アミーゴ
9.15
「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」〈Event Information〉
・両毛新聞
9.7
「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界 群馬県立館林美術館」

〔定期刊行物〕
・月刊アートコレクターズ
9月号
「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」〈Close Up Preview〉＊
11月号
「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界 鹿島茂著」〈BOOK GUIDE〉
・男の隠れ家
12月号
「フランスの貴重な絵本を公開 鹿島茂コレクション フランス絵本の世
界」〈ENTERTAINMENT TOPICS〉
・月刊 ザ・マイカー
10月号
「フランス絵本の世界展」〈Rouge Style〉

・天然生活
1月号
「鹿島茂の秘蔵コレクションを初公開。フランス絵本の世界
〈Information〉
・美術展&美術館 ぴあ 2017秋冬-2018
「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」〈全国美術展ガイド 2017秋冬
-2018春〉
・美術の窓
8月号
「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」〈2017年下半年編 絶対見た
い！！展覧会〉＊
10月号
「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」〈話題の展覧会〉
・美連協ニュース
8月号
「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」＊
・MOE
10月号
「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」〈今月の展覧会〉
・raifu
10月号
「愛らしく美しいフランス絵本の世界」〈群馬県内のイベント〉
・和楽
10・11月号
「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」〈全国厳選！美術展カレン
ダー ArtExhibition NAVI〉

◎放送

〔ラジオ〕
・FM桐生
9.21
「企画展示「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」のお知らせ〈ぐん
まいきいき情報〉
11.28
「たてび☆びじゅつ部 「フランスの切り絵をつくろう」のお知らせ〈ぐん
まいきいき情報〉
・FMぐんま
9.28
「館林美術館企画展示「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」〈ぐん
ま情報トッピング〉
10.4
「「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」関連事業 鹿島茂記念講演
会」〈ぐんま情報トッピング〉

[テレビ]

・NHK前橋

10.27

「10月28日 県民の日」〈ほっとぐんま640〉

・館林ケーブルテレビ

10.30-11.5

「館林美術館『フランス絵本の世界』〈うらら〉

・NHK前橋

11.28

「群馬で絵本を楽しもう!」〈ほっとぐんま640〉

・読み聞かせ・コンサート

11.12

「子どもと大人でたのしむ フランスの絵本と音楽」

第1部 「フランス絵本の読み聞かせ」

講師: 亀山クレール 協力: 黒川幸恵(にじの会)

第2部 「フランスの童謡とドビュッシーの『おもちゃ箱』」

出演: アンヌ=ソフィー・ロワイエ(歌)、澤田まゆみ(ピアノ)

協力: ピアノプラザ群馬

・学芸員による作品解説会

10.14、11.16、26

・たてび☆キッズウォーク

10.21、11.18、12.16

・たてび☆びじゅつ部

11.19、12.2

「フランスの切り絵をつくろう」

◎関連事業

・記念講演会

10.29

「フランスの絵本—KawaiiとB.D.(バンド・デシネ)の起源」

講師: 鹿島茂(明治大学教授、フランス文学者)



展示室2



展示室3



展示室4



展示室4

4. 粋な古伊万里 江戸ごのみのうつわデザイン

会期 平成30年1月20日(土)～平成30年4月8日(日)

会場 展示室2、3、4

主催 群馬県立館林美術館

観覧料 一般610円(480円)、大高生300円(240円)

()内は20名以上の団体割引料金

江戸時代の初め、現在の佐賀県有田において国内初の磁器が生み出され、伊万里港から積み出されたことから「伊万里焼」と呼ばれる。

磁器はそれまでは中国と朝鮮からの希少な輸入品であり、伊万里焼も初期は大名や公家などの上流階級の間で用いられる。大きな転機は17世紀中頃から18世紀初めにかけて、中国磁器のヨーロッパ向けの輸出が中断したことを契機に、オランダの東インド会社より注文を受けて豪華で大型の磁器を大量に輸出したことである。技法も釉薬の下に青で描く染付に加えて多色の色絵や金彩の技術が開発され、17世紀末の元禄時代には富裕な町人層が伊万里焼を享受するようになる。絵柄も中国陶磁のうつしだけでなく、和様化したものも生み出されていった。

江戸中期になると、上方を中心に栄えた華やかな町民文化である元禄文化の影響が江戸にも伝播し、さらに19世紀前半に文化・文政時代を迎えると、上方に代わって江戸が文化都市としての成熟をむかえる。この時代に、歌舞伎や人形浄瑠璃、浮世

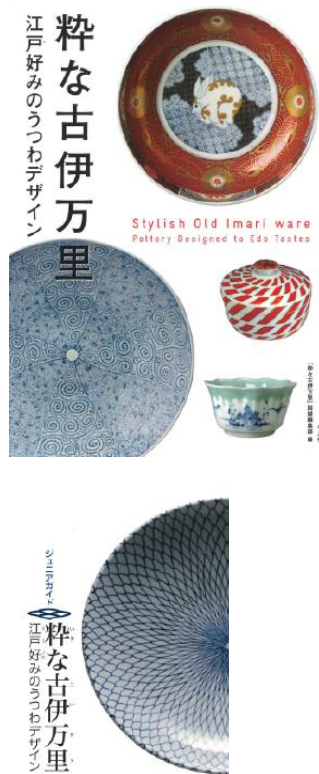
絵版画といった多くの娯楽が庶民の間に隆盛し、人々は「いき」な江戸文化を謳歌する。また、屋台や旅籠、料亭も盛んとなり、伊万里焼もこれに応じて、それまでの絢爛豪華な作風とは異なる機知に富んだ形や絵柄を作り出していく。本展では、初公開となる個人所蔵の伊万里焼のコレクションを、江戸時代前半の作品や、江戸時代後期の庶民に享受され、現代にも受け継がれたデザインをもつ食器の数々により紹介した。

関連事業では、日本陶芸史を専門とし、伊万里焼に詳しい荒川正明氏による講演会を開催、本展は伊万里焼の中期・後期の多様な展開に着目する新しい試みであるとの分析があった。従来の研究は、様式と技術の発展がめざましかった初期が中心となっているが、大量生産の体制が確立した中期、江戸に消費の中心地が移った後期の伊万里焼については詳しく研究されていないとのことである。本展は、伊万里焼が広く享受された時代に着目し、第1章「磁器の美—文様百態」で、時代に沿って展開する多様な文様を示し、第2章「粋な古伊万里—江戸好みのうつわ」では、器の形やセット構成が多彩になった江戸時代後期の作品を器の種類別に時代背景と共に紹介する工夫を凝らした。伊万里焼にはファンが多く、現代の生活でも古伊万里を楽しんでいる層や、コレクションをしている層の高い関心を集めることができた。

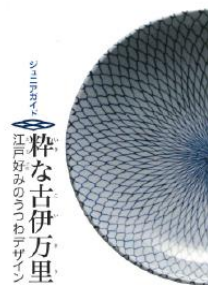
なお、出品作品の一部を用いてテーブルコーディネート2種(和様の祝膳、イタリアン)を行った。



ポスター



図録



ジュニアガイド

出品目録

第1章 磁器の美—文様百態

No.	作品名	製作年	展示点数	寸法 (cm)	備考 *テーブルコーディネートの例として展示
1	染付花鳥文大皿	17世紀中期		口径46.6 高さ11.5	染付銘 二重角「福」
2	染付花鳥文芙蓉手大皿	17世紀後期		口径36.5 高さ7.0	染付銘 二重角「福」
3	染付鮎水草文芙蓉手大皿	17世紀後期		口径32.5 高さ5.8	
4	染付藤花文共蓋水指	17世紀後期		胴径22.0 高さ15.0	
5	染付花唐草文丸紋散輪花大皿	17世紀後期- 18世紀前期		口径40.0 高さ12.8	染付銘「太明成化年製」
6	瑠璃釉陽刻牡丹文変形皿	18世紀中期		長径19.6 高さ3.7	
7	青磁染付菊水文足付皿	17世紀後期		口径28.8 高さ8.0	
8	青磁陽刻龍文輪花皿	17世紀中期	3	各 口径16.5 高さ3.8	
9	青磁陰刻草花文大皿	17世紀中期		口径35.5 高さ7.2	
10	色絵龍瓔珞文合子	18世紀前期		胴径12.5 高さ13.5	
11	色絵草花文鉢	18世紀前期		口径24.6 高さ12.6	
12	色絵金彩群鯉鳳凰花文大皿	18世紀前期		口径55.0 高さ9.5	
13	色絵窓絵花籠文大皿	18世紀前期		口径35.7 高さ6.0	
14	色絵花蝶文大皿	18世紀前期		口径34.0 高さ6.0	
15	染付山水文鉢	17世紀後期		口径36.5 高さ13.5	
16	染付楼閣山水文大皿	18世紀中期		口径50.2 高さ12.8	染付銘「大明成化年製」
17	青磁染付山水文輪花鉢	18世紀後期		口径17.0 高さ9.5	染付銘 二重角「福」
18	色絵婦人花見水文注	18世紀前期		胴径11.5 幅15.0 高さ16.5	
19	染付山水圀碁人物文輪花皿	18世紀後期		口径32.0 高さ6.0	
20	染付菊慈童文菊花皿	19世紀中期	3	各 口径21.2 高さ3.5	
21	染付松原人物文蓋物	18世紀後期		胴径18.5 高さ13.5	
22	染付鳥草文大皿	17世紀後期		口径30.8 高さ5.5	
23	染付菊鳥文輪花皿	17世紀後期		口径22.3 高さ3.0	染付銘「太明成晴年製」
24	染付花鳥文菊花大皿	17世紀末期		口径36.8 高さ9.4	
25	染付花折枝蝶繫文皿	19世紀後期	5	各 口径17.8 高さ2.5	染付銘「大明年製」
26	青磁色絵双魚菊丸文捻花皿	18世紀中期	2	各 口径21.5 高さ3.0	染付銘「大明成化年製」
27	染付波千鳥海中文輪花鉢	19世紀中期		口径23.0 高さ11.5	
28	染付波兔文輪花鉢	19世紀前期		口径19.2 高さ11.0	染付銘「乾」
29	色絵兔花唐草文大鉢	19世紀後期		口径31.7 高さ11.5	染付銘「富貴長春」
30	青磁猿文変形皿	18世紀後期	3	各 長径19.0 高さ2.9	*テーブルコーディネート(イタリアン)
31	色絵雲龍花唐草文輪繫小鉢	18世紀前期	3	各 口径10.2 高さ6.6	*テーブルコーディネート(イタリアン)
32	色絵団龍文捻花鉢	19世紀後期	5	各 口径13.3 高さ5.8	

No.	作品名	製作年	展示点数	寸法 (cm)	備考 *テーブルコーディネートの例として展示
33	色絵団龍獅子牡丹文輪花鉢	18世紀中期		口径24.0 高さ8.3	染付銘「富貴長春」
34	瑠璃釉染付金彩鳳凰花唐草文大皿	19世紀後期	1	各 口径46.6 高さ6.8 /口径43.8 高さ 7.2	染付銘「大明成化年製」
35	色絵窓絵鳳凰唐草文鉢	18世紀前期		口径28.0 高さ8.4	染付銘「富貴長春」
36	染付麒麟花唐草文結文形皿	18世紀中期	8	各 長径26.5 高さ3.8	染付銘「大明嘉靖年製」 *テーブルコーディネートの(和様の祝 膳)
37	染付唐獅子牡丹文大皿	19世紀前期		口径41.0 高さ6.8	
38	青磁染付竹虎文鉢	19世紀		口径30.2 高さ10.5	染付銘「祥瑞造」
39	染付牡丹芭蕉文大皿	18世紀前期		口径39.5 高さ8.8	
40	染付色紙重牡丹文皿	18世紀中期		口径31.5 高さ5.8	染付銘「大明成化年製」
41	染付牡丹卍菱繫文皿	18世紀前期	5	各 口径18.3 高さ3.1	染付銘 二重角「福」
42	染付剣先蓮弁文碗	19世紀前期	5	各 口径10.0 高さ5.0	
43	染付蓮弁割草花文皿	19世紀中期		口径22.4 高さ4.9	染付銘「瑞雲」
44	染付梅花文輪花手塩皿	18世紀前期	5	各 口径9.5 高さ2.5	
45	色絵桜花筏文輪花鉢	18世紀中期	5	各 口径15.1 高さ5.4	染付銘「奇玉珍玩」
46	染付桃折枝桜松文鉢	18世紀中期		口径31.8 高さ14.8	染付銘「大明成化年製」
47	色絵薊文猪口	18世紀前期	5	各 口径7.6 高さ5.8	
48	染付蒲公英文蓋付碗	18世紀中期	5	各 胴径11.8 高さ8.3	染付銘 二重角「福」
49	染付雲割雪輪紫陽花文大皿	18世紀中期		口径31.0 高さ5.7	染付銘 二重角「福」
50	色絵柘榴紫陽花文皿	18世紀後期	5	各 口径12.5 高さ3.5	
51	色絵陽刻扇菊唐草文水注	18世紀		胴径15.5 高さ17.0	
52	色絵秋草文猪口	18世紀前期	6	各 口径5.5 高さ3.8	
53	色絵雁薄文筒形小猪口	18世紀後期- 19世紀初期	20	各 口径4.8 高さ5.6	
54	染付花渦卷文小鉢	18世紀中期	10	各 口径7.3 高さ5.2	染付銘「富貴長春」
55	色絵唐花秋草文木瓜形小鉢	18世紀後期	5	各 口径8.9 高さ6.0	
56	染付籬瓢箪朝顔文蓋物	18世紀前期		胴径23.5 高さ17.0	
57	染付区割菊花盆瓢箪文膾皿	18世紀中期	2	各 口径14.8 高さ4.3	
58	色絵松竹梅紅葉流水文輪花鉢	18世紀中期		口径25.0 高さ9.5	
59	色絵桜唐草文鉢	18世紀前期		口径20.0 高さ9.8	
60	色絵菊唐草文皿	18世紀前期	5	各 口径15.8 高さ3.0	
61	染付唐花牡丹唐草文鉢	18世紀中期		口径31.0 高さ16.3	
62	染付唐草文輪花小鉢	18世紀中期	3	各 口径10.5 高さ6.2	染付銘 二重角「福」

No.	作品名	製作年	展示点数	寸法(cm)	備考 *テーブルコーディネートの例として展示
63	染付捻花花唐草文輪花皿	18世紀後期	5	各 口径15.0 高さ3.4	染付銘「大明成化年製」
64	染付鳥牡丹唐草文八角皿	18世紀末期		口径26.0 高さ5.0	
65	染付石榴唐草蓮弁文輪花小鉢	19世紀前期	3	各 口径9.0 高さ7.0	染付銘「乾」
66	染付蓮唐草文皿	18世紀後期- 19世紀初期	5	各 口径17.0 高さ3.0	染付銘
67	染付松竹梅唐草文輪花小鉢	18世紀後期	5	各 口径10.3 高さ6.8	染付銘「富貴長春」
68	染付松竹梅蛸唐草文輪花鉢	18世紀後期		口径25.0 高さ8.8	染付銘「富貴長春」
69	染付微塵唐草文皿	19世紀中期	7	各 口径15.5 高さ3.0	
70	染付微塵唐草文蓋付碗	19世紀後期	5	各 胴径8.8 高さ5.8	*テーブルコーディネート(和様の祝膳)
71	染付捻花蛸微塵唐草文大皿	19世紀前期		口径47.0 高さ8.5	
72	色絵松竹梅唐草文皿	18世紀中期	1	各 口径21.6 高さ2.3	染付銘「大明成化年製」
73	染付松竹梅唐草文輪花皿	18世紀後期	1	各 口径22.0 高さ3.5	
74	色絵松竹梅文木瓜形小鉢	19世紀初期	5	各 口径8.0 高さ6.0	
75	染付仙芝祝寿文皿	18世紀後期	3	各 口径18.0 高さ2.0	
76	染付壽字尽文水注	18世紀後期- 19世紀初期		胴径10.0 幅12.5 高さ14.5	
77	染付陽刻壽字文輪花小鉢	18世紀後期	3	各 口径17.5 高さ6.0	*テーブルコーディネート(イタリアン)
78	染付瓔珞繫文片口鉢	18世紀後期		口径9.2 高さ8.0	
79	色絵扇蝶牡丹文皿	18世紀前期	10	各 口径14.0 高さ3.0	
80	染付陽刻羽団扇文輪花皿	18世紀中期	5	各 口径15.5 高さ4.0	
81	染付日本地図大皿	19世紀前期		口径49.0 高さ7.8	染付銘「日本天保年製」
82	色絵螺旋文蓋物	18世紀後期		胴径18.8 高さ15.2	
83	染付格子文蓋物	19世紀後期		胴径21.8 高さ13.5	
84	染付圏線文蓋物	18世紀後期		胴径24.0 高さ13.0	
85	色絵圏線楓文蓋付碗	19世紀初期	3	各 胴径11.5 高さ9.0	*テーブルコーディネート(イタリアン)
86	青磁染付窓絵花鳥山水文八角鉢	18世紀末期- 19世紀初期		口径21.5 高さ11.0	
87	色絵窓絵唐花文十角鉢	18世紀前期		口径21.8 高さ9.5	
88	色絵区割松梅鶴文四方入隅銚子	18世紀中期	2	各 胴径13.1 幅15.2 高さ14.7	
89	色絵薄瑠璃片身替流水千鳥文四方小鉢	18世紀中期	10	各 口径13.0 高さ5.5	染付銘「太明年製」
90	色絵区割団鳳凰唐花文輪花鉢	19世紀後期		口径24.0 高さ8.5	染付銘「大明萬曆年製」
91	色絵花鳥花菱繫文蓋付碗	18世紀後期	5	各 胴径11.5 高さ8.0	染付銘 二重角「福」
92	染付花菱繫文菱形皿	18世紀前期	5	各 口径15.5 高さ4.0	染付銘 二重角「福」
93	染付陽刻桐紗綾繫文銚子	18世紀前期		胴径13.0 幅18.0 高さ16.0	
94	染付椿葡萄唐草文台皿	17世紀後期		口径33.5 高さ17.0	

第2章 粋な古伊万里－江戸好みのうつわ

No.	作品名	製作年	展示点数	寸法(cm)	備考 *テーブルコーディネートの例として展示
95	染付松竹梅蛸唐草文大鉢	18世紀中期		口径30.0 高さ9.0	染付銘「天明成化年製」
96	染付網目文大皿	19世紀前期		口径40.4 高さ7.8	
97	染付松竹梅微塵唐草文大皿	19世紀前期	1	各 口径40.6 高さ5.7	*テーブルコーディネート(和様の祝膳)
98	染付蛸唐草文段重	18世紀後期		胴径19.7 高さ24.0	
99	染付花唐草文筥鈕蓋物	19世紀前期		胴径31.5 高さ25.0	
100	瑠璃釉輪花鉢	18世紀後期		口径19.3 高さ10.0	
101	染付窓絵草花詩文八角鉢	18世紀末期- 19世紀初期		口径16.6 高さ8.9	染付銘「呉祥瑞造」
102	染付西洋人物駱駝文三組鉢	19世紀前期	3	各 (大)口径18.0 高さ9.0	
103	染付牡丹文片口鉢	19世紀中期		口径22.5 高さ9.7	
104	染付松竹梅牡丹唐草文小鉢	18世紀後期	1	各 口径15.5 高さ6.8	*テーブルコーディネート(和様の祝膳)
105	瑠璃釉四方割鉢	18世紀後期	3	各 口径15.0 高さ5.5	
106	瑠璃釉輪花小鉢	18世紀後期	5	各 口径9.2 高さ6.0	
107	色絵窓絵梅唐花文輪花小鉢	18世紀後期	5	各 口径8.3 高さ6.7	染付銘「富貴長春」
108	染付花繫文蓋付碗	18世紀中期	7	各 胴径11.5 高さ6.8	
109	染付窓絵牡丹瓔珞文蓋付碗	18世紀後期	2	各 胴径11.7 高さ7.5	
110	染付窓絵楼閣文輪花膾皿	18世紀後期	2	各 口径15.0 高さ5.5	染付銘「成化年製」
111	染付松竹梅蛸唐草文輪花手塩皿	18世紀後期	5	各 口径10.8 高さ2.5	染付銘「成化年製」
112	染付微塵唐草文輪花皿	18世紀後期	5	各 口径15.0 高さ4.5	染付銘「成化年製」
113	染付牡丹籠目文皿	18世紀後期	10	各 口径14.5 高さ3.5	染付銘 二重角「福」
114	染付唐花牡丹唐草文皿	18世紀後期	5	各 口径15.0 高さ3.4	
115	染付菊割龍文輪花皿	19世紀前期	5	各 口径18.0 高さ3.5	
116	染付微塵唐草文長皿	18世紀後期	5	各 長径20.2 高さ4.0	染付銘「富貴長春」
117	染付双鶴宝尽如意頭繫文扇形皿	18世紀前期	5	各 長径13.1 高さ3.7	染付銘「富貴長春」
118	染付山水文碗	18世紀末期- 19世紀初期	2	各 口径12.7 高さ7.2	
119	瑠璃釉色絵楼閣山水文瓢形徳利	17世紀中期		胴径11.0 高さ20.0	赤絵銘 二重角「福」
120	色絵桜花文八分盃	18世紀前期		口径9.5 高さ5.0	
121	青磁水注	17世紀後期		胴径17.5 幅19.8 高さ19.7	
122	染付花唐草文銚子	18世紀前期		胴径10.0 幅12.5 高さ14.0	
123	染付陽刻唐花文八角水注	18世紀後期		胴径11.5 幅16.0 高さ17.5	
124	瑠璃釉銚子	18世紀中期		胴径14.0 幅19.0 高さ16.5	
125	色絵唐花唐草文四方入隅銚子	18世紀中期	2	各 胴径8.8 幅12.8 高 さ13.8	*テーブルコーディネート(和様の祝膳)
126	染付松竹梅鶴文猪口	19世紀前期	3	各 口径7.7 高さ6.5	*テーブルコーディネート(和様の祝膳)

No.	作品名	製作年	展示点数	寸法 (cm)	備考
					*テーブルコーディネートの例として展示
127	色絵窓絵葡萄文猪口	18世紀前期	5	各 口径9.3 高さ6.8	染付銘 二重角「福」
128	色絵竹雀松皮菱文筒形小猪口	18世紀後期	6	各 口径5.0 高さ6.0	
129	色絵松梅文筒形小猪口	18世紀後期	3	各 口径5.5 高さ5.8	*テーブルコーディネート(和様の祝膳)
130	色絵窓絵雲龍唐花文小鉢	18世紀前期	6	各 口径15.0 高さ5.0	
131	色絵窓絵花唐草文輪花菱形鉢	18世紀前期	5	各 口径13.5 高さ4.5	
132	瑠璃釉金彩三つ蕪文輪花皿	19世紀後期	3	各 口径27.5 高さ3.3	*テーブルコーディネート(イタリアン)
133	色絵窓絵山水人物花文四方鉢	17世紀末期- 18世紀前期	3	各 幅/奥行12.0 高さ6.5	染付銘「大明成化年製」 *テーブルコーディネート(和様の祝膳)
134	色絵窓絵花垣根文蓋付碗	19世紀後期	3	各 胴径9.5 高さ7.2	赤絵銘「隆」 *テーブルコーディネート(和様の祝膳)
135	染付微塵唐草文段重	19世紀前期		胴径13.0 高さ18.0	
136	色絵区割楼閣山水文灰吹	18世紀後期		胴径6.0 高さ10.5	
テーブル コーディネ ート	染付山水鳳凰唐草文大皿	17世紀末期- 18世紀初期		口径31.8 高さ5.0	*テーブルコーディネート(イタリアン) [ヨーロッパ輸出向け]
テーブル コーディネ ート	色絵花唐草花鳥文輪花大鉢	20世紀前期		口径34.7 高さ16.3	*テーブルコーディネート(イタリアン) [明治期製作]
テーブル コーディネ ート	瑠璃釉袖段重	19世紀前期		胴径14.3 高さ16.0	*テーブルコーディネート(和様の祝膳)

◎印刷物・会場作成物

・図録 B5判変型(25.7×18.4cm) 128頁

内容:

ごあいさつ

目次

エッセイ 三十一文字の古伊万里(松岡正剛)

章解説・技法解説・作品解説

古伊万里通観

作品リスト

執筆:松岡正剛

編集協力:大槻倫子(滋賀県立陶芸の森)

豊田菜穂子(アートプランニングレイ)

深井大門(アートプランニングレイ)

デザイン:中村香織(コパンダ・バーレルセル)

編集:清水壽明

日下部行洋

発行:株式会社 平凡社

発行日:2017年10月5日

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド 6面蛇腹折り、18.2×12.8cm

編集・発行:群馬県立館林美術館

デザイン・制作:株式会社 印象社

・パネル

挨拶1枚、章解説2枚、年表1枚、技法解説4枚

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・朝日新聞

1.16

「粋な古伊万里ー江戸好みのうつわデザイン」〈群馬マリオン〉

・朝日ぐんま

3.23

「「粋な古伊万里」展 江戸と現代をつなぐ日本初の磁器」*

・上毛新聞

12.30

「粋な古伊万里ー江戸好みのうつわデザイン」〈美術館・博物館〉

1.12

「古伊万里の魅力 記念講演会「吉祥のうつわ・古伊万里を楽しむ」〈先

どりピックアップ!〉

1.23

「粋なデザイン 古伊万里130点 県立館林美術館」〈東毛〉*

2.13

「「粋な古伊万里」展より①《染付花鳥文大皿》17世紀中期」〈アートを愉しむ〉*

2.14

「「粋な古伊万里」展より②《染付麒麟花唐草文結文形皿》18世紀中期」〈アートを愉しむ〉*

2.15

「「粋な古伊万里」展より③《色絵桜唐草文鉢》18世紀前期」〈アートを愉しむ〉*

2.16

「「粋な古伊万里」展より④《色絵金彩群鯉鳳凰花文大皿》18世紀前期」〈アートを愉しむ〉*

・上毛新聞 シャトル

2.8

「伊万里焼の世界 企画展示「粋な古伊万里 江戸好みのうつわデザイン」」〈イベント情報〉

2.15

「県立館林美術館 粋な古伊万里ー江戸好みのうつわデザイン 柄と形 組み合わせの妙」〈たてびアート散歩〉*

・JOMO TAKATAI

1.12

「簡潔で粋 古伊万里の世界 20日から館林美術館」〈アート〉*

・群馬よみうり タウンぐんま

1.26

「今なお世界を魅了し続ける「古伊万里」の意匠の世界を堪能」

〈WEEKLY TOPIC〉*

・群馬よみうり ビバ! アミーゴ

1.19

「粋な古伊万里ー江戸好みのうつわデザイン」〈Event Information〉

・両毛新聞

1.16

「「粋な古伊万里」展 群馬県立館林美術館」*

[定期刊行物]

・美術の窓

2月号

「粋な古伊万里ー江戸好みのうつわデザイン」〈必見!! 今年の展覧会 BEST 200〉

・raifu

1月号

「世界中にファンを持つ「古伊万里」の展覧会〈群馬県内のイベント〉

2月号、3月号

「群馬県立館林美術館」〈Art&StageEvent〉

[ラジオ]

・FM桐生

2.4

「企画展示「粋な古伊万里—江戸好みのうつわデザイン」<ぐんまいさいき情報>

[テレビ]

・NHK

2.4

「日曜美術館 アートシーン」

・NHK前橋

2.28

「「古伊万里」を集めた展覧会」<ほっとぐんま640>

◎関連事業

・記念講演会

2.4

「吉祥のうつわ・古伊万里を楽しむ」

講師: 荒川正明氏(学習院大学教授)

・館長による作品解説会

1.28

・学芸員による作品解説会

2.14、3.1

・たてび☆キッズウォーク

1.27、2.24、3.2

・展覧会ポスタープレゼント

2.3

・たてび☆びじゅつ部「展覧会ポスターでエコバッグをつくろう」

2.3



展示室2



展示室3 テーブルコーディネート(和様の祝膳)



展示室4



展示室4

第1期 4月22日(土)～6月25日(日)

展示室1

「近現代の彫刻Ⅰ 「かたち」から「動き」へ」

第2期 7月15日(土)～9月3日(日)

展示室1

「近現代の彫刻Ⅱ フランソワ・ボンポンのブロンズ彫刻」

第3期 9月23日(土・祝)～12月24日(日)

展示室1

「近現代の彫刻Ⅲ フランソワ・ボンポンの動物彫刻を中心に」

第4期 1月20日(土)～4月8日(日)

展示室1

「近現代の彫刻Ⅳ 動物・円・球体 ー抽象化への志向ー」

◎印刷物・会場作成物

「近現代の彫刻Ⅰ 「かたち」から「動き」へ」

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

「近現代の彫刻Ⅱ フランソワ・ボンポンのブロンズ彫刻」

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

「近現代の彫刻Ⅲ フランソワ・ボンポンの動物彫刻を中心に」

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

「近現代の彫刻Ⅳ 動物・円・球体 ー抽象化への志向ー」

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

近現代の彫刻 I 「かたち」から「動き」へ
平成29年4月22日(土)～6月25日(日) 展示室 1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ボンボン	ラクダ	1906 - 1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ボンボン	風見鶏	1908 - 1932	銅板	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ボンボン	ほろほろ鳥	1910 - 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ボンボン	ヒグマ	1918 - 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ボンボン	牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ボンボン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ボンボン	パン	1923年頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ボンボン	シロクマ	1923 - 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
9	フランソワ・ボンボン	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927 - 1928	ブロンズ	12.5 × 20.8 × 8.0	群馬県立館林美術館
10	フランソワ・ボンボン	大黒豹	1930 - 1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
11	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
12	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43.0 × 35.0 × 5.0	群馬県立館林美術館
13	ヘンリー・ムーア	羊	1960	ブロンズ	19.8 × 24.0 × 11.3	群馬県立館林美術館
14	ヘンリー・ムーア	後ろ足で立つ馬	1972	ブロンズ	20.0 × 9.0 × 7.0	群馬県立館林美術館
15	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981	ブロンズ	23.7 × 5.9 × 7.6	群馬県立館林美術館
16	ヘンリー・ムーア	小さな人体	1983	ブロンズ	14.2 × 6.0 × 5.4	群馬県立館林美術館
17	高田博厚	海	1962	ブロンズ	77.0 × 34.0 × 29.0	群馬県立館林美術館
18	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
19	アーブラハム＝ダール フィット・クリスティアン	清らかな人 XI	1982	ブロンズ	166.2 × 57.8 × 28.0	群馬県立館林美術館
20	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
21	掛井五郎	人間の問題研究Ⅲ 四つの足	1985	ブロンズ	100.0 × 96.0 × 30.0	群馬県立館林美術館 寄託
22	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
23	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館



近現代の彫刻Ⅱ フランソワ・ポンポンのブロンズ彫刻□
平成29年7月15日(土)～9月3日(日) 展示室 1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンボン	コゼット	1888	ブロンズ	41.0 × 18.0 × 13.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンボン	ほろほろ鳥	1910 - 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンボン	ラクダ	1906 - 1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンボン	風見鶏	1908 - 1932	銅板	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンボン	牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンボン	ヒグマ	1918 - 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンボン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1923 - 1933	合金	24.7 × 44.0 × 12.4	群馬県立館林美術館
9	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1923 - 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
10	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1923 - 1933	ブロンズ	12.0 × 23.5 × 5.0	群馬県立館林美術館
11	フランソワ・ポンボン	フクロウ	1918 - 1923	石膏	18.6 × 8.5 × 8.5	群馬県立館林美術館
12	フランソワ・ポンボン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
13	フランソワ・ポンボン	バン	1923年頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
14	フランソワ・ポンボン	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927 - 1928	ブロンズ	12.5 × 20.8 × 8.0	群馬県立館林美術館
15	フランソワ・ポンボン	大黒豹	1930 - 1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
16	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ	11.4 × 7.4 × 5.7	群馬県立館林美術館
17	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981	ブロンズ	23.7 × 5.9 × 7.6	群馬県立館林美術館
18	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951	スチール・ロッド	158.5 × 110.5 × 79.0	群馬県立館林美術館
19	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
20	ジム・ダイン	キング・バロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
21	ブルーノ・ロメダ	純粹な大円	2003	ブロンズ	188.0 × 191.2 × 20.0	群馬県立館林美術館
資料	ブロンズ鑄造工程モデル式	(モデル14点+仕上げ色見本6体セット)	2010	油土、石膏、ロウ、樹脂、ブロンズ他	解説指導：高橋裕二、奥敬詩(ブロンズスタジオ)	



近現代の彫刻Ⅲ－フランソワ・ポンポンの動物彫刻を中心に
平成29年9月23日(土・祝)～12月24日(日) 展示室 1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	コゼット	1888	ブロンズ	41.0 × 18.0 × 13.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン	牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン	ヒグマ	1918 - 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927 - 1928	ブロンズ	12.5 × 20.8 × 8.0	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910 - 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンポン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンポン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ポンポン	パン	1923年頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
9	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 - 1933	合金	24.0 × 44.0 × 12.4	群馬県立館林美術館
10	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 - 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
11	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 - 1933	ブロンズ	12.0 × 23.5 × 5.0	群馬県立館林美術館
12	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ	11.4 × 7.4 × 5.7	群馬県立館林美術館
13	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981	ブロンズ	23.7 × 5.9 × 7.6	群馬県立館林美術館
14	ヘンリー・ムーア	後ろ足で立つ馬	1972	ブロンズ	20.0 × 9.0 × 7.0	群馬県立館林美術館
15	ヘンリー・ムーア	馬の頭部	1982	ブロンズ	13.6 × 12.0 × 6.5	群馬県立館林美術館
16	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
17	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951	スチール・ロッド	158.5 × 110.5 × 79.0	群馬県立館林美術館
18	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43.0 × 35.0 × 5.0	群馬県立館林美術館
19	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
20	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
21	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
22	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
23	土谷武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館



近現代の彫刻Ⅳ 動物・円・球体 —抽象化への志向—
平成30年1月20日(土)~4月8日(日) 展示室 1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ボンボン	ラクダ	1906 - 1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ボンボン	ヒグマ	1918 - 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ボンボン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ボンボン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ボンボン	シロクマ	1923 - 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ボンボン	バン	1923年頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
7	チャーナ・オルロフ	魚ノ噴水	1929	ブロンズ	40.7 × 40.5 × 13.3	群馬県立館林美術館
8	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948	ブロンズ	23.8 × 38.6 × 19.2	群馬県立館林美術館
9	アーブラハム＝ダー フィット・クリスティアン	清らかな人 XI	1982	ブロンズ	166.2 × 57.8 × 28.0	群馬県立館林美術館
10	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
11	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
12	ブルーノ・ロメダ	純粋な大円	2003	ブロンズ	188.0 × 191.2 × 20.0	群馬県立館林美術館
13	和南城孝志	Archetypus空間への旅 I	1979	ブロンズ	12.0 × 35.0 × 35.0	群馬県立館林美術館
14	和南城孝志	Archetypus円のイメージ I	1981	ベルギー産黒 大理石	20.0 × 50.0 × 50.0	群馬県立館林美術館
15	和南城孝志	Archetypus空間への旅 II	1983	ブロンズ	10.0 × 30.0 × 30.0	群馬県立館林美術館
16	イサム・ノグチ	リス	1984 - 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
17	土谷武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
18	伊藤博敏	ZIP STONE Metal Age	2013	自然石・ファス ナー・ステンレ ス球	12.0 × 13.0 × 7.5	群馬県立館林美術館 寄託 I氏コレクション



D 彫刻家のアトリエ(別館)展示記録

彫刻家のアトリエの展示ケース内にて資料(一部複製)を展示。展示ごとに配布用解説を作成した。

第1期

「フランソワ・ポンポン関連資料よりーポンポンの転機:1922ー23年」

4月22日(土)～6月25日(日)

展示資料:写真(複製)21点

ポンポンの人生における転機を、写真などでたどった。最初の転機は20歳でパリに出たとき、次に1890年のロダン工房で働き始めた年、そして最大の転機は1922年である。1922年は、ポンポンに注目する批評家が現れ、サロン・ドートンヌで《シロクマ》で大きな反響を呼んだ。同年に鋳造所もヴァルシュアニへと代わり、黒くモダンなブロンズで有機的なシルエットを浮かび上がらせる作品が誕生する。

第2期

「フランソワ・ポンポン関連資料よりーポンポンと周辺の作家たち」

7月15日(土)～9月3日(日)

展示資料:写真(複製)6点、本2冊、名刺(複製)2点、雑誌切り抜き図版(複製)3点、リーフレット(複製)2点

ポンポンが彫刻家としての道を歩む過程で周辺にどのような作家がいたのかをテーマとした。ロダンやメルシエなどの大彫刻家をはじめ、ジャック＝エミール・リュールマンのような装飾芸術家、同じ動物芸術家のポール・ジューヴ、若い世代の彫刻家たちとしてチャーナ・オルロフ、アンリ・マルティネなどについて、関連のカタログ、名刺、写真、作品の紹介とともに触れた。

第3期

「フランソワ・ポンポン関連資料よりーフクロウ・ワシミミズクをめぐって」

9月23日(土・祝)～12月24日(日)

展示資料:写真(複製)10点、リーフレット(複製)1点

フクロウとワシミミズクの2種の鳥類を取り上げ、写真などの資料で紹介した。《フクロウ》は、日本の工芸の影響が指摘される作品。ブロンズは鋳造所により仕上げの色が異なる。そのほか、大理石、木製など、様々な素材で、形もヴァリエーションがある。《ワシミミズク》は、ポンポンが影響を受けたエジプト美術に通じる単純化を見ることができる。

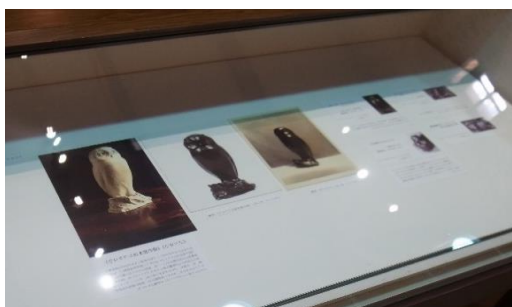
第4期

「フランソワ・ポンポン関連資料よりーポンポンと古代美術」

1月20日(土)～4月8日(日)

展示資料:写真(複製、参考)11点、絵はがき(複製)3点、雑誌切り抜き(複製)1点

ポンポンの動物彫刻の造形に大きな影響を与えた古代美術について取り上げた。ポンポンが集めていた雑誌の切り抜きの中には、古代エジプトの動物の神像、古代オリエント美術の図版などが見出される。またポンポンの《大雄牛》や《ライオン頭部》《コンドル》などは、古代エジプトとの関わりが色濃いことを作品写真で紹介した。



E 入館者数一覧表

企画展示

	有料観覧者							無料観覧者					観覧者 合計	入館者 合計	
	個人			団体				有料 合計	小中 生	学校 団体	身体障 害者等	その他			無料 合計
	一般	大高生	小計	一般	大高生	小計									
清宮質文と版画の魅力 植物、樹木そして風景(同時開催) 4/1-4/2 2日	267	13	280	0	0	0	280	15	0	16	250	287	567	592	
京都のみやびとモダン —京都国立近代美術館所蔵 日本画・工芸名品展— 4/22-6/25 56日	5,935	93	6,028	206	0	206	6,234	182	102	402	3,976	4,662	10,896	13,274	
カミナリとアート 光／電気／神さま 7/15-9/3 45日	3,643	207	3,850	43	55	98	3,948	1,833	67	206	5,748	7,854	11,802	13,685	
鹿島茂コレクション フランス絵本の世界 9/23-12/24 80日	4,397	146	4,543	165	99	264	4,807	396	547	289	6,671	7,903	12,710	16,061	
粋な古伊万里 1/20-3/31 61日	3,900	108	4,008	143	0	143	4,151	146	171	312	3,502	4,131	8,282	11,256	
企画展示 計 246日	18,142	567	18,709	557	154	711	19,420	2,572	887	1,225	20,153	28,837	44,257	54,868	

入館者数は、観覧者数に施設利用者数、教育普及事業参加者数を加えた総数。
平成29年度の総入館者数は、54,868人である。

A 講演会、アーティスト・トーク

展覧会に関連した講演会、美術講座を開催した。

1. 講演会

開催日	名称	講師	会場	参加者数
6.17	京都のみやびとモダン展 記念講演会	十五代樂吉左衛門(陶芸家)	講堂	120
6.17	京都のみやびとモダン展 記念講演会後サイン会	十五代樂吉左衛門(陶芸家)	講堂	37
10.3	鹿島茂 記念講演会「フランスの絵本-KawaiiとB.D.(バンド・デシネ)の起源」	鹿島茂(明治大学教授、フランス文学者)	講堂	94
10.3	鹿島茂 記念講演会後サイン会	鹿島茂(明治大学教授、フランス文学者)	エントランスホール	42
2.4	粋な古伊万里展 記念講演会「吉祥のうつわ・古伊万里を楽しむ」	荒川正明(学習院大学教授)	講堂	89

2. アーティスト・トーク

展覧会の出品作家が自らの作品について語った。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
7.15	アーティスト・トーク	青木豊、TOCHKA、小野田賢三(出品作家)	展示室	42
7.29	アーティスト・トーク	多和田有希、タムラサトル(出品作家)	展示室	30
8.3	アーティスト・トーク	木村崇人(出品作家)	展示室	47



京都のみやびとモダン展 記念講演会



鹿島茂 記念講演会
「フランスの絵本-KawaiiとB.D.(バンド・デシネ)の起源」



鹿島茂 記念講演会後サイン会



青木豊、TOCHKA、小野田賢三 アーティスト・トーク



多和田有希、タムラサトル アーティスト・トーク



木村崇人 アーティスト・トーク

B 作品解説会、ギャラリートーク、レクチャー、たてび☆キッズウォーク、ボンボン・ツアー

1. 学芸員による作品解説会

各展覧会において、学芸員が作品解説を行った。

開催日	展示の名称	解説者	会場	参加者数
4.26	京都のみやびとモダン	野澤広紀	展示室	44
6.11	京都のみやびとモダン	野澤広紀	展示室	41
7.23	カミナリとアート 光/電気/神さま	熊谷ゆう子	展示室	26
8.22	カミナリとアート 光/電気/神さま	熊谷ゆう子	展示室	23
10.14	鹿島茂コレクション フランス絵本の世界	松下和美	展示室	12
11.16	鹿島茂コレクション フランス絵本の世界	松下和美	展示室	30
11.26	鹿島茂コレクション フランス絵本の世界	松下和美	展示室	30
2.14	粋な古伊万里ー江戸好みのうつわデザイン	松下由里	展示室	27
3.1	粋な古伊万里ー江戸好みのうつわデザイン	松下由里	展示室	17

2. ギャラリートーク

当館館長が展示作品について解説を行った。

開催日	名称	解説者	会場	参加者数
5.14	当館館長によるギャラリートーク	佐々木正直	展示室	55
5.26	当館館長によるギャラリートーク	佐々木正直	展示室	33

3. レクチャー

当館館長が風神雷神が主題の美術作品や歴史について語った。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
8.6	館長レクチャー「風神雷神の美術」	佐々木正直	講堂	33

4. たてび☆キッズウォーク

参加者は、ワークシートを持って展示室を自由に探検しながら作品を鑑賞した。

開催日	担当者	会場	参加者数
5.6	齊藤由紀子・齋藤久美子	展示室	11
6.17	齋藤久美子・竹淵典子	展示室	4
7.22	齋藤久美子・竹淵典子	展示室	18
8.5	齋藤久美子・竹淵典子	展示室	16
9.30	齋藤久美子	展示室	5
10.21	齋藤久美子	展示室	3
11.18	羽鳥あゆみ	展示室	2
12.16	齋藤久美子・竹淵典子	展示室	16
1.27	齋藤久美子	展示室	1
2.24	齋藤久美子・竹淵典子	展示室	10
3.24	竹淵典子	展示室	3

5. ポンポン・ツアー

当館人気のフランソワ・ポンポンの彫刻や公開資料を、学芸員の詳しい解説付きでご紹介するスペシャル・ツアーを行った。

開催日	解説者	会場	参加者数
6.4	松下和美	彫刻家のアトリエ	48
8.20	松下由里	彫刻家のアトリエ	35
11.5	松下和美	彫刻家のアトリエ	27
2.11	松下和美	彫刻家のアトリエ	46



学芸員による作品解説会



館長レクチャー「風神雷神の美術」



たてび☆キッズウォーク



ポンポン・ツアー

C ワークショップ

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5.20	いろいろな木でマグネットを作ろう	須田賢司(重要無形文化財「木工芸」保持者)	ワークショップ室	20
7.30	写真を彫刻してみよう	多和田有紀(出品作家)	ワークショップ室	14
8.26	みんな出前調理人	木村崇人(出品作家)	ワークショップ室	9

1. いろいろな木でマグネットを作ろう

春の企画展示「京都のみやびとモダン展」の関連事業として、群馬県在住の重要無形文化財「木工芸」保持者(人間国宝)である須田賢司氏をお迎えし、いろいろな木を用いて、絵はがきなどを飾るためのマグネットを制作するワークショップを開催した。須田氏が普段から制作で使用している様々な種類の木材についてのお話を伺った後に、あらかじめ須田氏が加工した様々な形の木材を参加者が選び、磨いたり、形を整えたりしながらマグネットを完成させた。参加者は、木の手触りや香りを楽しみながら制作に没頭していた。

2. 写真を彫刻してみよう

夏の企画展示「カミナリとアート展」の関連事業として、出品作家の多和田有希氏をお招きし、多和田氏の制作方法にならい、写真をスクラッチして光にあふれた不思議な景色を作るワークショップを開催した。多和田氏が準備した風景写真に描き加えるように、ニードルや砂消しゴムなどで表面を削ったり、こすったりしながら光に満ちあふれた、エネルギーを感じる不思議な光景を作り上げていった。参加者は、多和田氏の指導のもと、今まで経験したことのない写真を削るという制作方法に驚きながらも、新鮮な気持ちで楽しく取り組んでいた。

3. みんな出前調理人

夏の企画展示「カミナリとアート展」の関連事業として、出品作家の木村崇人氏をお招きして、電気を使って科学実験のようにホットドッグを調理するワークショップを開催した。羊腸を使った本格的なソーセージを手作りした後に、パンにはさんでできた全員分のホットドッグを電極に直列につなぎ、一気に電流を流して調理した。ソーセージの焼ける音とスパイシーな香りに、参加者からは歓声が上がった。ホットドッグをおいしく食した後は、木村氏が妖しげな衣装に身を包み、火花を散らしながらステーキを焼いたり、エスプレッソを入れたりしたパフォーマンスで参加者を沸かせた。



いろいろな木でマグネットを作ろう



写真を彫刻してみよう



みんな出前調理人

D 創作体験コーナー みんなのアトリエ「多色摺り木版画の摺り体験」

みんなのアトリエは、夏季企画展会期中の事業で、参加者に簡単な多色摺り木版画の摺り体験を提供している。平成21年度より、同会期中に「館林邑楽地区小学生木版画展」を開催していることから、テーマの関連を図り、この事業が始まった。今回は講師に、木版画家の濱田路子氏を招き、同氏が製作した版により、摺り方の基本や色の重なり方の多様性や美しさを教えていただいた。7月20日、27日、8月10日、17日の各木曜日に全4回開催し、167人が参加した。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
7.20	多色摺り木版画の摺り体験	濱田路子	ワークショップ室	14
7.27				48
8.10				49
8.17				56



みんなのアトリエ「多色摺り木版画の摺り体験」



みんなのアトリエ「多色摺り木版画の摺り体験」

E たてび☆びじゅつ部

「たてび☆びじゅつ部」は誰でも気軽に参加できる無料の造形体験コーナーである。展覧会に関連した造形体験を企画し、開催した。

1. たてび☆びじゅつ部

開催日	名称	会場	参加者数
5.13	「簡単！和紙染め体験」①	ワークショップ室	39
6.10	「簡単！和紙染め体験」②	ワークショップ室	38
8.19	「雷絵馬をつくろう」	ワークショップ室	37
11.19	「フランスの切り絵を作ろう」①	ワークショップ室	51
12.2	「フランスの切り絵を作ろう」②	ワークショップ室	49
2.3	「展覧会ポスターでエコバックをつくろう」	講堂	38



たてび☆びじゅつ部「簡単！和紙染め体験」



たてび☆びじゅつ部「雷絵馬をつくろう」



たてび☆びじゅつ部「フランスの切り絵を作ろう」



たてび☆びじゅつ部「展覧会ポスターでエコバックをつくろう」

2. 展覧会ポスタープレゼント

当館が保管していた過去の展覧会ポスターを来館者に配布する企画。たてび☆びじゅつ部「展覧会ポスターでエコバックをつくろう」と同時開催で行い、自分で選んだポスターをワークショップ会場へ持ち込めば、創作体験ができる。参加者は多彩なポスターに見入りながら、気に入ったポスターを持ち帰った。

開催日	名称	会場	参加者数
2.3	展覧会ポスタープレゼント	講堂前通路	64



展覧会ポスタープレゼント

F たてび土曜レクチャー

当館学芸員やゲストを迎え、美術にまつわるテーマで4週にわたり、レクチャーを行った。

1. たてび土曜レクチャー「やきものの話/海外アート紀行」

開催日	名称	講師	会場	参加者数
2.10	第1回「やきものの人間国宝(佐賀)」	佐々木正直(当館館長)	講堂	42
2.17	第2回「ゆるゆる目線で行く!面白「やきもの」探訪」	伊藤佳之(福沢一郎記念館(世田谷)学芸員)	講堂	19
2.14	第3回「ウィリアム・モリスのデザインを訪ねて」	松下由里(当館学芸員)	講堂	49
3.10	第4回「北欧デザインを巡る旅～デンマーク編～」	野澤広紀(当館学芸員)	講堂	19
3.24	第5回「ヨーロッパ三大芸術祭 アートな旅の魅力」	佐原しおり(当館学芸員)	講堂	27



たてび土曜レクチャー「やきものの人間国宝(佐賀)」



たてび土曜レクチャー「ウィリアム・モリスのデザインを訪ねて」

G コンサート・読み聞かせ

1. 子どもと大人で楽しむ フランスの絵本と音楽

企画展示「フランス絵本の世界」の関連事業として、フランス人のゲストを迎え、子どもの頃に親しんだ歌や絵本にまつわるエピソードを伺いながら、フランスの音楽やフランス語の読み聞かせを楽しむ「子どもと大人で楽しむ フランスの絵本と音楽」を開催した。第1部は、出品作品のナタリー・バランの絵本のフランス語と日本語の読み聞かせを交互に聞いた。第2部は、フランスの童謡を子どもたちが中心となり、ピアノ演奏と歌に合わせて歌ったり、踊ったりした後、楽譜絵本『おもちゃ箱』の挿絵を見ながらフランス語の朗読とピアノ演奏に静かに聴き入った。

開催日	名称	講師・出演者	会場	参加者数
11.12	子どもと大人で楽しむ フランスの絵本と音楽 第1部「フランス絵本の読み聞かせ」	講師: 亀山クレール、黒川幸恵(にじの会)	講堂	215
	第2部「フランスの童謡とドビュッシーの『おもちゃ箱』」	出演: アンヌ=ソフィー・ロワイエ(歌)、澤田まゆみ(ピアノ)、新島学園短期大学コミュニティ子ども学科		



子どもと大人で楽しむ フランスの絵本と音楽

H 他団体への協力

1. 館林教育委員会・県立館林美術館共催講座

館林市教育委員会との共催により、当館を会場に黒川弘毅氏と神尾玲子氏を講師に迎え、彫刻講座を開催した。

開催日	名称	講師	会場	一般参加者数
2.24	彫刻を楽しむための「彫刻講座」	黒川弘毅(武蔵野美術大学彫刻学科教授)・神尾玲子(群馬県立近代美術館学芸員)	講堂・展示室1	25

2. 花と緑の館林づくり協議会・県立館林美術館連携事業

花と緑の館林づくり協議会が主催する「あんだんて美術館」と群馬県立館林美術館の連携事業として、県内在住の美術作家、小林達也氏を講師に招き、「あんだんて美術館」に展示する作品を参加者と制作した。

開催日	名称	講師	会場	一般参加者数
3.17	あんだんて美術館×群馬県立館林美術館「みんなで花と緑のまちを描こう！」	小林達也(美術作家)	ワークショップ室	26



彫刻を楽しむための「彫刻講座」



あんだんて美術館×群馬県立館林美術館
「みんなで花と緑のまちを描こう！」

I 学校連携その他

当館では、学校との連携に力を入れており、当館独自の鑑賞プログラム「たてび☆スクールプログラム」を作成し、学校の要望を取り入れつつ、見学の受け入れや訪問鑑賞授業を行っている。また、より多くの児童生徒たちが美術館を訪れるための素地作りとして、教職員向けのセミナーを夏休み期間中に開催している。また、近隣の芸術科を有する西邑楽高校とも年々連携を深め、当館を会場としたイベントを開催している。一般団体においては、解説を希望する団体に、観覧前の概要説明や学芸員による展示室解説を行っている。

1. 学校との連携事業

(1)連携授業等

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
5.17	職場体験打合せ・見学	白鷗大学足利中学校	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	1
5.18	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校5年生	齊藤由紀子、 羽鳥あゆみ	館林市立第一小学校	85
5.30	美術館見学	ぐんま国際アカデミー初等部	齊藤由紀子、 伊羅子典代、 羽鳥あゆみ	講堂・展示室・別館	110
5.30	訪問鑑賞授業	前橋市立富士見中学校1年生	齊藤由紀子、 竹渕典子	前橋市立富士見中学校	106
6.1	訪問鑑賞授業	前橋市立富士見中学校1年生	齊藤由紀子、 羽鳥あゆみ	前橋市立富士見中学校	106
6.13	職場体験	白鷗大学足利中学校	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	1
6.14	職場体験	白鷗大学足利中学校	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	1
6.15	職場体験	白鷗大学足利中学校	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	1
6.22	訪問鑑賞授業	館林市立第五小学校5年生	齊藤由紀子、 羽鳥あゆみ	館林市立第五小学校	77
6.29	訪問鑑賞授業	館林市立第五小学校6年生	齊藤由紀子、 羽鳥あゆみ	館林市立第五小学校	71
7.22	美術館見学	明和町社会福祉協議会学童保育所	齋藤久美子	エントランスホール・展示室・別館	8
7.25	絵画教室・美術館見学	渡瀬公民館 館林市立第九小学校 家庭教育学級	齊藤由紀子	ワークショップ室・展示室	18
7.26	絵画教室・美術館見学	渡瀬公民館 館林市立第九小学校 家庭教育学級	齊藤由紀子	ワークショップ室・展示室	22
7.26	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校美術部	伊羅子典代	研修室・展示室・別館	15
8.2	宿題相談室+鑑賞	宿題相談室参加者	齊藤由紀子、 齋藤久美子、 竹渕典子	ワークショップ室・展示室	38
8.3	宿題相談室+鑑賞	宿題相談室参加者	齊藤由紀子、 齋藤久美子、 竹渕典子	ワークショップ室・展示室	42
8.10	美術館見学	伊勢崎市立第四中学校美術部	伊羅子典代	研修室・展示室・別館	19
8.12	ミニコンサート+鑑賞	群馬県立西邑楽高等学校吹奏楽部	齊藤由紀子	エントランスホール・展示室・別館・研修室	35
8.22	美術館見学	ひまわりクラブ	齊藤由紀子	研修室・展示室・別館	18
8.23	美術館見学	行田市立長野中学校美術部	齋藤久美子	ワークショップ室・展示室	27
8.23	美術館見学	太田市立藪塚中学校美術部	齊藤由紀子、 羽鳥あゆみ	エントランスホール・展示室・別館	21
8.24	美術館見学	大泉町立南中学校美術部	竹渕典子	研修室・展示室・別館	7
8.24	美術館見学	佐野市立葛生中学校美術部	野澤広紀	エントランスホール・展示室・別館	7
10.6	美術館見学	桐生市立広沢小学校5年生	齊藤由紀子、 伊羅子典代、 羽鳥あゆみ	講堂・展示室・別館	89
10.11	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校3年生	齊藤由紀子	研修室・展示室・別館	35
10.11	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校1・3年生	松下和美、 齊藤由紀子	講堂・展示室・別館	75
10.12	訪問鑑賞授業	館林市立第二中学校3年生	齊藤由紀子	館林市立第二中学校	32
10.12	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校1年生	齊藤由紀子	研修室・展示室・別館	31
10.12	職場体験	館林市立第一中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	2
10.13	職場体験	館林市立第一中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	4
10.16	訪問鑑賞授業	館林市立第二中学校3年生	齊藤由紀子	館林市立第二中学校	33
10.17	訪問鑑賞授業	館林市立第二中学校3年生	齊藤由紀子	館林市立第二中学校	33
10.19	職場体験	邑楽町立邑楽中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	3
10.20	職場体験	邑楽町立邑楽中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	3
10.24	職場体験	館林市立第四中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	2

10.31	美術館見学	前橋市立山王小学校5年生	齊藤由紀子、齋藤久美子、竹濑典子	講堂・展示室・別館	84
11.2	美術館見学・施設見学	館林市立第八小学校5年生	齊藤由紀子、	研修室・展示室・別館	29
11.7	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校3年生	齊藤由紀子、	桐生市立東小学校	36
11.7	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校2年生	齊藤由紀子、竹濑典子	桐生市立東小学校	16
11.7	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校6年生	齊藤由紀子、竹濑典子	桐生市立東小学校	22
11.7	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校5年生	齊藤由紀子、竹濑典子	桐生市立東小学校	21
11.9	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校1年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	桐生市立東小学校	30
11.9	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校6年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	桐生市立東小学校	22
11.9	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校2年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	桐生市立東小学校	17
11.9	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校5年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	桐生市立東小学校	23
11.9	美術館見学	みどり市立大間々南小学校5年生	伊羅子典代	研修室・展示室・別館	27
11.11	美術館見学	赤羽児童館	齋藤久美子	研修室・展示室・別館	26
11.14	美術館見学	中央工学校	松下和美、齊藤由紀子	展示室・講堂・別館・バックヤード	62
11.22	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校2年生	松下和美、齊藤由紀子	講堂・展示室・別館	34
12.5	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校3年生	齊藤由紀子、竹濑典子	館林市立第一小学校	101
12.6	訪問鑑賞授業	前橋市立敷島小学校6年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	前橋市立敷島小学校	39
12.7	美術館見学	邑楽町立長柄小学校4年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ、竹濑典子	講堂・展示室・別館	84
12.19	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校1年生	齊藤由紀子、竹濑典子	館林市立第二小学校	25
12.20	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校1年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第二小学校	26
12.21	訪問鑑賞授業	板倉町立南小学校3・4年生	齊藤由紀子	板倉町立南小学校	32
12.23	美術館見学	太田市立西中学校美術部	齊藤由紀子	展示室・別館	10
1.10	訪問鑑賞授業	桐生市立東小学校4年生	齊藤由紀子、	桐生市立東小学校	51
1.11	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校6年生	齊藤由紀子、	館林市立第二小学校	50
1.16	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校5年生	齊藤由紀子、	館林市立第二小学校	63
1.19	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校4年生	齊藤由紀子、	館林市立第一小学校	66
1.23	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校2年生	齊藤由紀子、竹濑典子	館林市立第二小学校	54
1.24	職場体験	足利市立愛宕台中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	1
1.25	職場体験	足利市立愛宕台中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	1
1.25	訪問鑑賞授業	館林市立多々良中学校3年生	齊藤由紀子	館林市立多々良中学校	73
1.26	職場体験	足利市立愛宕台中学校2年生	齊藤由紀子	会議室・学芸室・展示室	1
1.26	訪問鑑賞授業	館林市立多々良中学校3年生	齊藤由紀子	館林市立多々良中学校	73
1.30	特別講義+鑑賞	群馬県立西邑楽高等学校美術家美術コース	齊藤由紀子	講堂・研修室・展示室・別館	71
2.6	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校4年生	齊藤由紀子、竹濑典子	館林市立第二小学校	54
2.7	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校2年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第二小学校	54
2.8	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校3年生	齊藤由紀子、竹濑典子	館林市立第二小学校	25
2.9	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校3年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第二小学校	28
2.15	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校6年生	齊藤由紀子、竹濑典子	館林市立第一小学校	89
2.23	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校2年生	齊藤由紀子、羽鳥あゆみ	館林市立第一小学校	87
3.6	美術館見学	館林市立第四中学校特別支援学級	齊藤由紀子	研修室・展示室・別館	8
3.8	美術館見学	館林市立第八小学校5年生	齊藤由紀子、伊羅子典代、竹濑典子	講堂・展示室・別館	103
3.14	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校1年生	齊藤由紀子	館林市立第一小学校	56
3.15	訪問鑑賞授業	館林市立第一小学校1年生	齊藤由紀子	館林市立第一小学校	53
3.17	ワークショップ+美術館見学	あんだんて美術館ワークショップ参加者	齊藤由紀子、齋藤久美子、竹濑典子	ワークショップ室・展示室	26

(2)団体解説のみを実施

開催日	学校名	担当	会場	参加者数
2.8	館林市立多々良中学校芸術部	齊藤由紀子	エントランスホール	16

(3)主任会、研修会の実施、参加

開催日	名称	学校名、組織名	担当	会場	参加者数
4.11	館林市中学校美術部会	館林市中学校美術部会	齊藤由紀子	館林市立第一中学校	7
4.17	館林市小学校図工部会	館林市小学校図工部会	齊藤由紀子	館林市立第二小学校	13
5.11	ぐんま国際アカデミー下見・打合せ	館林市小学校図工部会	齊藤由紀子	研修室・展示室	4
5.12	館林市小学校図工部会	館林市中学校美術部会	齊藤由紀子	研修室・展示室	13
6.5	館林市中学校美術部会	邑楽郡小学校図工主任会	齊藤由紀子	館林市立第二中学校	7
6.20	邑楽郡小学校図工主任会	前橋市立山王小学校	齊藤由紀子	研修室・展示室	18
8.9	邑楽郡小学校図工実技講習会	群馬県立あさひ特別支援学校	齊藤由紀子	ワークショップ室・展示室	26
8.24	館林市小学校図工実技講習会	邑楽郡小学校図工主任会	齊藤由紀子	研修室・展示室	15
8.24	桐生市立広沢小学校下見・打合せ	大泉町立北小学校	齋藤久美子	研修室・展示室	3
8.25	前橋市立山王小学校下見・打合せ	群馬県総合教育センター	齊藤由紀子	研修室・展示室	3
9.6	校内鑑賞指導研修会	太田市立毛里田小学校	齊藤由紀子	大泉町立南小学校	50
9.7	館林市中学校美術部会	群馬県立太田フレックス高等学校	齊藤由紀子	館林市立第三中学校	7
10.6	館林市小学校図工部会	館林市中学校美術部会	齊藤由紀子	研修室・展示室	13
10.16	館林市中学校美術部会授業研究会	館林中学校美術部会	齊藤由紀子	館林市立第二中学校	7
11.16	邑楽郡小学校図工主任会	館林市小学校図工部会	齊藤由紀子	研修室・展示室	18
1.12	館林市小学校図工部会	太田市立太田東小学校	齊藤由紀子	館林市立第一小学校	13
1.22	板倉町立南小学校校内研修会	邑楽郡小学校図工部会	齊藤由紀子	板倉町立南小学校	9
1.24	館林市中学校美術部会	館林市立第二小学校	齊藤由紀子	館林市立第四中学校	7
2.16	両毛6市教育長会議	館林市小学校図工部会	齊藤由紀子	研修室・展示室	25

(4)「先生のための美術館サマーセミナー」の開催

開催日 名称	担当	会場	参加者数
8.23 先生のための美術館サマーセミナー	齊藤由紀子、 熊谷ゆう子	研修室、展示室	8

夏季休業期間中に、教職員を対象とした「先生のための美術館サマーセミナー」を開催した。本事業は、教職員が美術館をもっと身近なものとしてとらえ、学校の授業や行事の中に気軽に取り入れ、活用していけるように企画したものである。県内の小中学校と関係機関に配布している「たてび☆スクールプログラム」について、利用例をスライドで紹介したり、ワークシートを使った鑑賞やアートカードゲームなどを実際に体験していただいたりした。展示作品については、学芸員が解説を行い、参加者は、美術に親しみながら、美術館活動への理解を深めていた。



学校訪問鑑賞授業



美術館見学



先生のための美術館サマーセミナー

2. 群馬県立西邑楽高等学校との連携事業

(1)高校生による夏休み宿題相談室

県立西邑楽高等学校の芸術科美術コースの生徒が、当館を会場に、絵やポスターなど小中学生の夏休みの課題について、アドバイスをするワークショップであり、2日間に分けて開催した。参加者は、高校生からのアドバイスをもとに、熱心に制作に励んでいた。また、高校生たちは、小中学生との交流を通して、教えることの難しさを感じながらもふれあいを楽しみながら活動していた。

開催日 名称	会場	参加者数
8.2 高校生による夏休み宿題相談室	ワークショップ室	26
8.3 高校生による夏休み宿題相談室	ワークショップ室	29

(2)高校生による美術館ミニコンサート

県立西邑楽高等学校の吹奏楽部が、当館のエントランスホールを会場にミニコンサートを開催した。総勢27名の生徒たちが、コンクールで発表した曲をはじめとした30分間の演奏を2回行った。生徒たちは日頃の成果を発揮して素晴らしい演奏を行い、美術館を訪れた来館者を魅了した。

開催日 名称	会場	参加者数
8.12 高校生による美術館ミニコンサート	エントランスホール	125

(3)特別講義 深堀隆介「アートを作り続ける持続力」

群馬県立西邑楽高等学校では、芸術科美術コースの生徒を対象に、授業の一環として、国内外で活躍している現代作家による特別講義を毎年開催している。今年度は、代表作「金魚酒」で知られる美術家の深堀隆介氏を講師にお迎えし、当館の講堂を会場に講義を行った。本事業では、生徒たちとともに、一般の聴講者も募集している。

開催日 名称	会場	参加者数
1.30 特別講義 深堀隆介「アートを作り続ける持続力」	講堂	76



高校生による夏休み宿題相談室



高校生による美術館ミニコンサート



特別講義 深堀隆介「アートを作り続ける持続力」

3. 団体観覧者への解説

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	0	2	3	5	1	2	1	2	2	1	0	1	20
人数	0	56	108	94	18	81	31	24	25	35	0	37	509

J 地域に開かれた美術館づくり

館林美術館の施設と機能を活かして、地区小学生の健全育成、芸術創作活動の振興、美術鑑賞力の向上を図るとともに、地域に開かれた美術館づくりを推進するために、館林が生んだ木版画家である藤牧義夫にちなみ、館林市及び邑楽郡5町の各市町及び各市町教育委員会の協力を得て、「第9回 日本を代表する木版画家「藤牧義夫」記念館林邑楽地区小学生木版画展」を開催した。会場は講堂を使用し、参加小学校全27校を一週間6会期に分けて展示した。31日間の全会期中に、合計2,742人が観覧した。

会期	開催期間	参加校	入室者数
第1期	7.15-7.20	邑楽町立中野小学校、邑楽町立高島小学校、邑楽町立長柄小学校、邑楽町立中野東小学校	432
第2期	7.22-7.27	館林市立第一小学校、館林市立第二小学校、館林市立第三小学校、館林市立第四小学校、館林市立第五小学校	343
第3期	7.29-8.3	館林市立第六小学校、館林市立第七小学校、館林市立第八小学校、館林市立第九小学校	433
第4期	8.5-8.10	館林市立第十小学校、館林市立美園小学校、板倉町立東小学校、板倉町立西小学校、板倉町立南小学校、板倉町立北小学校	420
第5期	8.12-8.17	明和町立明和東小学校、明和町立明和西小学校、大泉町立南小学校、大泉町立北小学校	704
第6期	8.19-8.24	大泉町立西小学校、大泉町立東小学校、千代田町立西小学校、千代田町立東小学校	410

**第9回日本を代表する木版画家「藤牧義夫」記念
館林邑楽地区
小学生木版画展**

館林出身の創作版画家藤牧義夫にちなみ、館林邑楽地区の小学生による木版画展を開催します。この展覧会は、地区内全27校の5年生児童全員が参加するものです。ぜひ、この機会に多くの方に美術館にお越しいただき、木版画の魅力を楽しんでいただけることを願っています。

2017年7月15日[土]～8月24日[木]各週土曜日から木曜日

GMAT
Gunma Museum of Art,
Tatebayashi

〒374-0056 群馬県館林市日野町2003 電話:0276-72-8188 FAX:0276-72-8338 <http://www.gmat.pref.gunma.jp/>

開館時間:午前9時30分～午後5時
休館日:毎月曜日(7月17日、8月14日、8月21日)
(金曜日の休館は本展のみ、余興展示「まじりアート」光/電気/焼きま(を含む美術館全体は開館)
観覧料:観覧無料(7歳未満とアート 光/電気/焼きま(7/15/16)～9/3/16)

群馬県立館林美術館 講堂 [入場無料]

主催:群馬県立館林美術館
協賛:群馬県、館林市、邑楽郡、明和町、大泉町、板倉町、千代田町
実行委員会:群馬県教育委員会、館林市教育委員会、邑楽郡教育委員会、明和町教育委員会、大泉町教育委員会、板倉町教育委員会、千代田町教育委員会

協賛校(27校):
 第1期:邑楽町立中野小学校、邑楽町立高島小学校、邑楽町立長柄小学校、邑楽町立中野東小学校
 第2期:館林市立第一小学校、館林市立第二小学校、館林市立第三小学校、館林市立第四小学校、館林市立第五小学校
 第3期:館林市立第六小学校、館林市立第七小学校、館林市立第八小学校、館林市立第九小学校
 第4期:館林市立第十小学校、館林市立美園小学校、板倉町立東小学校、板倉町立西小学校、板倉町立南小学校、板倉町立北小学校
 第5期:明和町立明和東小学校、明和町立明和西小学校、大泉町立南小学校、大泉町立北小学校
 第6期:大泉町立西小学校、大泉町立東小学校、千代田町立西小学校、千代田町立東小学校

観覧料:無料(7歳未満は観覧料100円) ※7歳未満は保護者同伴で観覧してください。
 観覧時間:午前9時30分～午後5時
 休館日:毎月曜日(7月17日、8月14日、8月21日)
 (金曜日の休館は本展のみ、余興展示「まじりアート」光/電気/焼きま(を含む美術館全体は開館)
 観覧料:観覧無料(7歳未満とアート 光/電気/焼きま(7/15/16)～9/3/16)

〒374-0056 群馬県館林市日野町2003 電話:0276-72-8188 FAX:0276-72-8338 <http://www.gmat.pref.gunma.jp/>

開館時間:午前9時30分～午後5時
休館日:毎月曜日(7月17日、8月14日、8月21日)
(金曜日の休館は本展のみ、余興展示「まじりアート」光/電気/焼きま(を含む美術館全体は開館)
観覧料:観覧無料(7歳未満とアート 光/電気/焼きま(7/15/16)～9/3/16)

〒374-0056 群馬県館林市日野町2003 電話:0276-72-8188 FAX:0276-72-8338 <http://www.gmat.pref.gunma.jp/>

ポスター



展示会場

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

教育普及事業・その他

[新聞等]

・上毛新聞

8.8

「ポスターの描き方指導 西邑楽高生が宿題相談」*

8.19

「3原色重ねて スイカを表現 県立館林美術館で版画教室」*

・上毛新聞 シャトル

9.21

「県立館林美術館 作品からひもとく「秋」作家も成熟 才能を結実」〈たてびアート散歩〉*

11.16

「県立館林美術館 館長レクチャー「柿右衛門と今右衛門」世界に誇る芸術性 19日」〈たてびアート散歩〉*

11.23

「館林美術館でコンサート 力強いギターの音色」〈地域の話題〉*

12.21

「県立館林美術館 他館で見るコレクション 貸し出しの作品 厳格条件で保存」〈たてびアート散歩〉*

1.18

「県立館林美術館 コレクション展「近現代の彫刻Ⅳ」極限まで省略し 動物の本質表現」〈たてびアート散歩〉*

2.22

「美術館コンサート◆スプリングコンサート2018」〈イベント情報〉

3.15

「県立館林美術館 作品理解へ教育普及活動 出合いの場 広く提供」〈たてびアート散歩〉*

[定期刊行物]

・企画展だけじゃもったいない 日本の美術館めぐり

2018.1.30

「群馬県立館林美術館」*

・Deli-J

2月号

「第11回 群馬県立館林美術館」〈群馬の施設を巡る 県立〇〇〉*

・まま・ここと

2017 vol.30 秋号

「群馬県立館林美術館」〈親子で行きたい8つの美術館〉

・momo

Vol.15 アート特集号

「群馬県立館林美術館」〈空間全体で楽しめる美術館へ〉*

◎群馬県立館林美術館平成30年度事業案内

B4判変形4つ折り

平成30年3月発行

発行部数 25,000部



L ボランティア

昨年度より募集を開始した年間登録制のボランティア、「たてび★サポーター」は、主にワークショップの制作サポート、「たてび☆キッズウォーク」の受付サポート、館内の資料整理等を活動としている。その他、随時、活動に合わせた研修会を開催し、コミュニケーションを図りつつ、円滑な美術館の普及活動に貢献している。募集は通年でいい、今年度の登録数は45名である。

期日	名称	人数
4.23、7.13、 1.20	研修会等	47
6.30、7.5	ワークショップ準備	18
7.20、7.27、 8.10、8.17	「みんなのアトリエ」制作サポート	40
5.13、6.10、 8.19、11.19、 12.2、2.3	「たてび☆びじゅつ部」制作サポート	59
5.6、6.17、 7.22、8.5、 9.30、10.21、 11.18、 12.16、1.27、 2.24、3.24	「たてび☆キッズウォーク」サポート	44
2.3	「展覧会ポスタープレゼント」サポート	2
5.11、5.25、 6.8、6.22、 9.28、10.12、 10.26、11.9、 11.30、12.7、 12.2、11.25、 2.8、2.22、 3.8、3.22	資料整理	58

M 友の会(群馬県立館林美術館友の会)

1. 運営会議

- (1)総会(6.24)
- (2)理事会(6.24)
- (3)運営委員会(4回 5.10、6.7、8.30、12.6)
事業の企画運営等具体的事項の協議

2. 美術館協力支援事業

- (1)ミュージアムショップの運営
展覧会商品、図録、オリジナル商品、書籍その他の展示販売を通して来館者へのサービス向上に努めた。
- (2)レセプションの開催(9.22)
美術館事業との共催
- (3)美術館への協力
ミュージアムショップの利益から映像機材を寄贈

3. 会員対象事業

- (1)美術館情報の提供(4.20、7.6、9.6、12.20、3.28)
展覧会や美術講座等の広報資料や、友の会からのお知らせ等を随時会員に送付した。
- (2)コンサートの開催(10.27、3.16)
オータムコンサート10月27日 演奏者:DON ALMAS(スパニッシュギターユニット) 参加者128名
スプリングコンサート3月16日 演奏者:中村 祐哉(テノール) 渡邊 知恵子(ピアノ) 参加者104名
- (3)ミュージアム・ツアーの開催(9.27)
美術館訪問を通じて美術鑑賞と会員相互の親睦を深めた。参加者48名
訪問先 ハーモ美術館、北澤美術館
- (4)館長レクチャー(11.19)
「柿右衛門と今右衛門」参加者56名
- (5)アンケート事業(9月、12月)
友の会の事業運営に役立てるため、9月、12月の2回アンケート方式にて意見・要望を募った。

A 美術作品

1. 作品収蔵状況 平成30年3月31日現在

作家区分 収蔵方法	県内作家		国内作家			外国作家			小計	総計
	購入	寄贈	購入	寄贈	小計	購入	寄贈			
部門										
日本画	4	9	13	1	1	2	0	0	0	15
油彩その他	7	0	7	18	9	27	6	1	7	41
水彩・素描	10	6	16	3	0	3	8	0	8	27
版画	22	0	22	289	253	542	52	0	52	616
写真・映像	0	0	0	60	8	68	12	0	12	80
彫刻	5	8	13	4	5	9	125	0	125	147
染織・工芸	5	3	8	3	0	3	4	1	5	16
計	53	26	79	378	276	654	207	2	209	942

2. 平成29年度 収蔵作品

平成29年度においては、油彩その他1点(寄贈 1点)、版画1点(寄贈1点)の計2点を新たに収蔵した。以下、区分ごとに50音順に配列している。各作品データは、以下の順に記す。

- ・作者名(生没年)
- ・作品名
- ・制作年(日本人作家の場合は元号も付す)
- ・技法・材質(・形状)
- ・寸法(平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行、単位はcm)
- ・サイン、年記、その他の記載事項
- ・初発表展覧会および受賞記録
- ・受入種別
- ・受入番号

<油彩その他>

福田美蘭(1963～)
 FUKUDA Miran
 大津絵-雷公
 2014(平成26)年
 アクリル・パネル
 227.3×181.8
 「笑う美術」
 (茨城県近代美術館、2015年)
 作者寄贈
 941



<版画>

小磯良平(1903～1988)
 KOISO Ryohei
 (『駒井哲郎ブックワーク』より)
 1982(昭和57)年
 銅版・紙(中林忠良刷り)
 40.7×31.7
 左下に年記とEd.:「'82 H.C. VIII/XV」
 右下にサイン:「R Koiso」
 寄贈
 942-1



浜田知明(1917~2018)
HAMADA Chimei
見えない壁(『駒井哲郎ブックワーク』より)
1982(昭和57)年
エッチング・アルシユ紙、雁皮紙貼
(山村兄弟工房刷り)
14.4×15.3
左下にEd.:「E.A.」
右下にサイン:「Chimei H.」
寄贈
942-2



清宮質文(1917~1991)
SEIMIYA Naobumi
われむかしの日いにしえの年をおもえり
(『駒井哲郎ブックワーク』より)
1982(昭和57)年
木版・紙
15.1×13.0
左下にEd.:「E.A. 8/15」
右下にサイン:「N.Seimiya」
寄贈
942-3



駒井哲郎(1920~1976)
KOMAI Tetsuro
W・H・ハドソン『夢を追う子』
「しんきろうの国の人びと」
(『駒井哲郎ブックワーク』より)
1972(昭和47)年
銅版・紙
(1982年渡辺達正による後刷り)
41.3×31.5
左下にEd.:「E.A. VIII/XX」
右下にサイン(エンボス印):「K」
寄贈
942-4



3. 平成29年度 寄託作品

作者名	作品名(*新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法(cm)	
				縦×横または高さ×幅×奥行	
藤牧義夫	関連資料 全21点				
清宮質文	葦	1958	木版・紙	21.6	× 18.7
清宮質文	むかしのはなし	1958	木版・紙	8.1	× 16.6
清宮質文	古い日	1960	木版・紙	17.2	× 14.4
清宮質文	幼きもの	1963	木版・紙	24.0	× 21.4
清宮質文	蝶	1963	木版・紙	24.7	× 22.2
清宮質文	眠り	1966	木版・紙	19.8	× 27.8
清宮質文	夏の終り	1967	木版・紙	10.4	× 22.3
清宮質文	九月の海辺	1970	木版・紙	13.4	× 23.4
清宮質文	歳月	1970	木版・紙	18.3	× 25.8
清宮質文	北辺の小屋	1971	ガラス絵	15.6	× 21.4
清宮質文	暗い夕日(版画集『暗い夕日』1)	1972	木版・紙	21.5	× 19.3
清宮質文	冬(版画集『暗い夕日』2)	1972	木版・紙	23.2	× 22.0
清宮質文	トンネルの出口(版画集『暗い夕日』3)	1972	木版・紙	23.5	× 20.0
清宮質文	虜囚の窓(版画集『暗い夕日』4)	1972	木版・紙	24.6	× 20.0

作者名	作品名(* 新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法(cm)		
				縦×横または高さ×幅×奥行		
清宮質文	夕方の静物【版画集『暗い夕日』5)	1972	木版・紙	23.3	×	22.0
清宮質文	窓のカンテラ【版画集『暗い夕日』6)	1972	木版・紙	24.4	×	14.3
清宮質文	入日【版画集『暗い夕日』7)	1972	木版・紙	16.2	×	25.8
清宮質文	町外れ【版画集『暗い夕日』8)	1972	木版・紙	13.8	×	22.4
清宮質文	夕日の静物【版画集『暗い夕日』9)	1972	木版・紙	13.9	×	22.3
清宮質文	塙の中の魚【版画集『暗い夕日』10)	1972	木版・紙	20.2	×	22.6
清宮質文	窓のランタン	1972	木版・紙	24.4	×	14.2
清宮質文	深夜の蠟燭	1974	木版・紙	17.8	×	15.1
清宮質文	星占(去りゆく凶星)	1975	木版・紙	15.2	×	17.9
清宮質文	秋の夕日	1976	木版・紙	16.0	×	14.3
清宮質文	作品	1981	水彩・紙	9.8	×	16.1
清宮質文	われむかしの日にしえの年をおもひ	1982	木版・紙	15.1	×	13.0
清宮質文	黒夜の鳥	1982	木版・紙	13.9	×	17.5
清宮質文	夢の中へ	1983	木版・紙	15.7	×	6.9
清宮質文	失題	1983	モノタイプ・紙	20.8	×	16.2
清宮質文	失題	1983	モノタイプ・紙	19.5	×	11.7
清宮質文	失題	1983	モノタイプ・紙	21.2	×	16.2
清宮質文	秋の午後	1985	木版・紙	11.0	×	23.4
清宮質文	なんじの革囊にわが涙を	1985	木版・紙	17.8	×	16.8
清宮質文	夕日のとり	1985	木版・紙	7.9	×	16.0
清宮質文	晩夏	1985	木版・紙	6.8	×	7.0
清宮質文	月と運河(試作)	1987	木版・紙	16.3	×	16.5
清宮質文	未完(絶筆)	1991	水彩・紙	20.8	×	24.5
清宮質文	未完(絶筆)	1991	水彩・紙	22.3	×	30.0
清宮質文	冬の夕(絶筆)	1991	ガラス絵	12.3	×	16.2
清宮質文	未完(絶筆)	1991	ガラス絵	12.4	×	16.5
中平四郎	讀賣	1924	木彫	60.0	×	34.0 × 25.0
長重之	視床～青	1995	木、布、アクリル絵具	100.0	×	162.0 × 7.0
長重之	視床	2010	水彩、コラージュ・紙	92.5	×	116.0
山口啓介	花の心臓 / 炭素原子モデル	2003	顔料、樹脂、自家製樹脂、アクリル・カンヴァス	270.0	×	181.0
山口啓介	花の心臓 / 蕊柱	2003	油彩・カンヴァス	270.0	×	181.0
大森暁生	Swan in the frame (Type-A)	2006	檜、漆、彩色、ステンレス、アガチス、銅	70.0	×	130.0 × 67.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品 1 *	不詳	樹皮、木、イノシシの骨	130.0	×	146.0 × 6.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品 4 *	不詳	樹皮、木	110.0	×	147.0 × 15.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品 5 *	不詳	樹皮、木	135.0	×	65.0 × 7.0
スタン・アンダソン	犬の散歩道ー暮坂高原古道再生プロジェクト(部分) *	2015	樹皮	180.0	×	290.0 × 25.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品(六合の地図) *	不詳	樹皮	108.0	×	110.0 × 7.0
スタン・アンダソン	立体作品 *	不詳	樹皮、木、動物の骨	186.0	×	136.0 × 100.0
スタン・アンダソン	動物の絵柄の紙漉き作品 14点 *	不詳	樹皮、貝殻	直径	約30	
スタン・アンダソン	ドローイング 1 *	不詳	パステル・紙	54.0	×	40.0
スタン・アンダソン	ドローイング 2 *	不詳	パステル・紙	54.0	×	40.0
スタン・アンダソン	ドローイング 3 *	不詳	パステル・紙	79.0	×	109.0
スタン・アンダソン	ドローイング 4 *	不詳	墨・紙	79.0	×	109.0
スタン・アンダソン	ドローイング(11点) *	不詳	鉛筆・紙	30.0	×	23.0
スタン・アンダソン	書籍(21冊) *					
奈良美智	Untitled *	1990	アクリル・紙	49.3	×	34.2
加藤泉	無題 *	2000	油彩・カンヴァス	40.7	×	24.0
田中敦子	Work *	2004	パステル・紙	33.2	×	24.3
阪本トクロウ	バード *	2007	アクリルガッシュ・雲肌麻紙	40.6	×	40.6
西尾康之	立像 *	不詳	ファイバープラスター	77.5	×	36.0 × 12.0
伊藤博敏	ZIP STONE Metal Age	2013	自然石、ファスナー、ステンレス球	7.5	×	12.0 × 13.0
大坂秩加	あなたに縁起のいい門出を	2010	リトグラフ・紙	25.0	×	16.0
大坂秩加	ちょっと高い合コン	2011	アクリル、水彩、色鉛筆、チョーク・麻布	70.0	×	50.0
大坂秩加	カップヌードルをすする	2012	アクリル、水彩、色鉛筆、白亜地・パネル	120.0	×	90.0
上根拓馬	27ガーディアンズ 大弁功德天	2010	エポキシ樹脂、レジンキャスト	7.5	×	12.0 × 13.0

作者名	作品名(*新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法(cm)		
				縦×横または高さ×幅×奥行		
上根拓馬	28ガーディアンズ 那羅延堅固	2010	エポキシ樹脂、レジンキャスト	7.5	× 12.0	× 13.0
上根拓馬	28ガーディアンズ 那羅延堅固	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト	7.5	× 12.0	× 13.0
上根拓馬	28ガーディアンズ 密遮金剛力士	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト	7.5	× 12.0	× 13.0
上根拓馬	12ガーディアンズ no.2 伐折羅大将	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト、ミクストメディア	7.5	× 12.0	× 13.0
上根拓馬	12ガーディアンズ the Devas no.7 毘沙門天	2013	エポキシ樹脂、レジンキャスト、ミクストメディア	7.5	× 12.0	× 13.0
白石綾子	room of womb	2010	アクリル、油彩・パネル	120.0	× 120.0	
樽谷タカシ	妖怪力車	2011	アクリル、金箔・木製パネル	33.3	× 53.1	
中井章人	引きずりの観測	2010	ミクストメディア	12.5	× 11.0	× 11.0
にしはらあずさ	グレタ	2010	油彩・コットンクロスパネル	41.0	× 31.8	
にしはらあずさ	あの子と逸れた	2011	油彩・コットンクロスパネル	162.1	× 112.1	
深沢幸雄	骨疾D	1955	エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙	24.2	× 18.1	
深沢幸雄	母子像	1956	メゾチント・紙	23.3	× 36.7	
深沢幸雄	橋	1958	エッチング、ディーブエッチング、ソフトグラウンドエッチング、シュガーアクアチント・紙	36.5	× 31.8	
深沢幸雄	新しい夜	1961	エッチング、ディーブエッチング、アクアチント、メゾチント・紙	36.5	× 34.0	
深沢幸雄	假面	1961	エッチング、ディーブエッチング、アクアチント、シュガー・アクアチント・紙	29.9	× 19.2	
深沢幸雄	残像	1961	エッチング、ディーブエッチング、ソフトグラウンドエッチング、シュガーアクアチント、ドライポイント・紙	30.0	× 36.5	
深沢幸雄	望郷	1962	エッチング、ディーブエッチング、アクアチント、シュガーアクアチント・紙	23.2	× 13.4	
深沢幸雄	憂愁の裸像	1992	エッチング、ディーブエッチング、アクアチント、メゾチント・紙	36.1	× 69.2	
町田久美	招き猫	不明	ミクストメディア	14.0	× 7.5	× 8.5
町田久美	らんちゅうタクシー	1998	スクリーンプリント・紙	87.0	× 42.7	
町田久美	赤い衣装	2010	青墨・岩絵具・顔料・雲肌麻紙	22.8	× 16.5	
町田久美	オモチャ	2011	ガッシュ、デジタルプリント・紙	29.4	× 39.0	
町田久美	a year	2012	岩絵具・リキテックス・鉛筆・カンヴァス	10.0	× 10.0	
町田久美	鞭	2012	和紙・鉛筆・色鉛筆・オイルパステル	30.0	× 21.0	
町田久美	前夜	2013	エッチング、リトグラフ、金箔(手彩色)・和紙	22.7	× 19.2	
町田久美	前夜	2014	エッチング、リトグラフ、金箔(手彩色)・和紙	22.7	× 19.4	
三宅砂織	ベッドルーム2	2008	ゼラチン・シルバー・プリント	70.0	× 70.0	
山口長男	人(Ⅲ)	1980	リトグラフ・紙	58.0	× 43.0	
山田純嗣	10-11 FLOWERS	2010	ポリコートパネル・印画紙・樹脂・パールペイント・インタリオ・オン・フォト	65.0	× 65.0	
山中現	流れ星	1981	木版・紙	48.8	× 36.5	
山中現	後に大きく	1982	木版・紙	15.5	× 22.6	
山中現	ニョロニョロ	1982	木版・紙	15.4	× 22.6	
山中現	まど	1982	木版・紙	46.0	× 32.2	

作者名	作品名(*新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法(cm)		
				縦×横または高さ×幅×奥行		
山中現	7	1983	木版・紙	24.8	×	25.8
山中現	二つの雲	1984	木版・紙	20.3	×	15.4
山中現	夜話 I	1986	木版・紙	52.4	×	40.0
山中現	夜に II	1986	木版・紙	27.0	×	19.2
山中現	星夜IV	1987	木版・紙	69.2	×	48.3
山中現	星の道	1989	木版・紙	42.5	×	31.6
山中現	二つの時	1993	木版・紙	48.4	×	66.5
山中現	カタチノアツマルバシヨ	1994	木版・紙	24.5	×	35.0
山中現	4つの場所	1998	油彩・カンヴァス	45.5	×	37.8
山中現	雲の記号	2000	木版・紙	49.1	×	62.9
山中現	みどりのかたち	2000	木版・紙	62.6	×	49.0
山中現	陰の刻	2005	木版・紙	51.8	×	45.0
山中現	ひとつの茶色	2006	ガラス絵	14.5	×	9.8
山中現	ひとつのみどり	2006	ガラス絵	14.5	×	9.8
山中現	冬の日	2006	ガラス絵	9.8	×	14.5
山中現	時のかたち	2007	油絵・カンヴァス	40.8	×	31.8
横尾忠則	予兆の刻I	1989	シルクスクリーン・紙	62.5	×	70.0
三輪途道	YUUKO	1996-2004	檜、漆、膠、白土、顔料	153.0	×	48.0 × 25.0
三輪途道	野辺の王様	1998	檜、漆、膠、白土、顔料	125.0	×	32.0 × 40.0
三輪途道	温度-H.MIWA-	1999	檜、漆、膠、白土、顔料	99.0	×	57.0 × 37.0
三輪途道	縄文からの道	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	12.0	×	25.0 × 16.0
三輪途道	TOKYO-2000.1.12.Age60-	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	102.0	×	50.0 × 28.0
三輪途道	猿を待ってた日	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	23.0	×	16.5 × 23.0
三輪途道	下仁田ーおじい	2003	檜、漆、膠、顔料	79.0	×	59.0 × 64.0
三輪途道	下仁田ーおばあ	2003	檜、漆、膠、顔料	83.0	×	50.0 × 56.0
三輪途道	おじいの宝 II (金歯の位置違い)	2003	檜、漆、金箔	3.0	×	7.5 × 5.0
三輪途道	おじいの抜け殻	2003	檜、漆、膠、顔料	14.0	×	44.0 × 38.0
三輪途道	猫の抜け道	2005	檜、漆、膠、顔料	25.0	×	68.0 × 14.0
三輪途道	発電所のなめくじ	2005	檜、漆、膠、白土、顔料	4.0	×	6.0 × 14.0
				5.0	×	8.0 × 20.0
				6.0	×	9.0 × 28.0
				13.0	×	10.0 × 18.0
				13.0	×	10.0 × 18.0
三輪途道	父子像	2007	檜、漆、膠、顔料	175.0	×	42.0 × 42.0
三輪途道	乳母と私 II	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	90.0	×	58.0 × 71.0
三輪途道	父子像 II	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	159.0	×	99.0 × 8.0
松井冬子	同世代のエジプト人	2007	鉛筆・紙	43.7	×	36.7
松井冬子	トメヌ4世	2007	鉛筆・紙	36.2	×	44.1
カンノサカン	無題	2007	ウレタン、アクリル・パネルに貼られたカンヴァス	30.0	×	30.0
大竹利絵子	へび	2006	木	31.0	×	21.5 × 17.0
川島秀明	stare	2008	アクリル・キャンバス	50.0	×	72.7
日野之彦	パーマ	2007	鉛筆・紙	103.5	×	72.5
日野之彦	縞の服	2008	鉛筆・紙	101.6	×	50.4
会田誠	トラウマンボーイ02	2007	パネル、紙、色鉛筆、水彩絵具、油性マーカー	36.5	×	51.5
会田誠&加藤愛	愛ちゃん盆栽(ほおずき)小料理屋にて	2008	ラムダプリント	86.8	×	125.0
Chim ↑ Pom	イケてる人達みたい02	2008	Cプリント、DVD	31.0	×	31.0
加藤泉	無題	2009	油彩・カンヴァス	33.3	×	24.0
町田久美	ひとり	2003	雲肌麻紙・墨	130.0	×	97.0
森田恒友	漁村図	未詳	紙本墨画・軸	94.5	×	90.0
岸浪百草居	画卷(魚など)	未詳	紙本著色・卷子	24.0	×	625.9
津田青楓	山高水長画卷	1937	紙本著色・卷子	30.2	×	538.2
掛井五郎	人間の問題研究III 四つの足	1985	ブロンズ	100.0	×	96.0 × 30.0
岡本健彦	風神・雷神	1993	油彩、鉛、ステンレスチール、カンヴァス、合板	183.0	×	200.0 × 398.0
日野之彦	見つめ合い	2011	油彩・カンヴァス	91.0	×	91.0
日野之彦	二人は走る	2010	油彩・カンヴァス	259.1	×	193.9
アルブレヒト・デューラー	書斎の聖ヒエロニムス	1514	エングレーヴィング・紙	24.4	×	18.8
西村盛雄	甘露の雨 マナ9	2002	木	37.0	×	220.0 × 220.0
勅使河原蒼風	わかれ	1963	鉄	120.0	×	33.0 × 57.0

作者名	作品名(* 新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法(cm)		
				縦×横または高さ×幅×奥行		
勅使河原蒼風	群れ	1953	鉄	103.0	× 184.0	× 54.0
勅使河原蒼風	ビーナス	1957	木	68.0	× 65.0	× 30.0
勅使河原蒼風	クビ	1962	木	129.5	× 62.5	× 32.5
勅使河原蒼風	クサナギ	1967	銅	252.5	× 64.5	× 50.0
勅使河原蒼風	題不詳	不詳	銅	44.0	× 53.0	× 25.0
勅使河原蒼風	ミコ	1967	銅	96.0	× 49.0	× 48.0

4. 館蔵作品貸出状況

4-1. 館蔵作品貸出状況

作者名	作品名(* 寄託作品)	貸出先	展覧会名	会場・会期
小糸源太郎	けしの花	平塚市美術館	リアル(写真)のゆくえ	平塚市美術館
		足利市立美術館	高橋由一・岸田劉生、	4.15-6.11
		碧南市藤井達吉現代美術館	そして現代につながるもの	足利市立美術館
		姫路市立美術館		6.17-7.30
				碧南市藤井達吉現代美術館
				8.8-9.18
				姫路市立美術館
				9.23-11.5
作者名	作品名(* 寄託作品)	貸出先	展覧会名	会場・会期
フランソワ・ボンボン	コゼット	練馬区立美術館	19世紀パリ時間旅行 —失われた街を求めて—	練馬区立美術館 4.16-6.4
ジョアン・ミロ	独り語る	須坂版画美術館	ジョアン・ミロ版画展	須坂版画美術館 8.3-9.24
パブロ・ピカソ	闘牛技 真夜中の馬たち	和泉市久保惣記念美術館	ピカソと日本美術 —線描の魅力—	和泉市久保惣記念美術館 10.15-12.3
清宮質文	葦 * むかしのはなし * 古い日 * 幼きもの * 蝶 * 眠り * 夏の終り * 九月の海辺 * 歳月 * 北辺の小屋 * 暗い夕日(版画集『暗い夕日』1) * 冬(版画集『暗い夕日』2) * トンネルの出口(版画集『暗い夕日』3) * 虜囚の窓(版画集『暗い夕日』4) * 夕方の静物(版画集『暗い夕日』5) * 窓のカンテラ(版画集『暗い夕日』6) * 入日(版画集『暗い夕日』7) * 町外れ(版画集『暗い夕日』8) * 夕日の静物(版画集『暗い夕日』9) * 壇の中の魚(版画集『暗い夕日』10) * 窓のランタン * 深夜の蠟燭 *	高崎市美術館 茨城県近代美術館	生誕100年 清宮質文 あの夕日の彼方へ	高崎市美術館 12.10-1.31 茨城県近代美術館 2.23-4.20

星占(去りゆく凶星) *
 秋の夕日 *
 作品 *
 われむかしの日いいにし
 えの年をおもえり *
 黑夜の鳥 *
 夢の中へ *
 失題 *
 失題 *
 失題 *
 秋の午後 *
 なんじの革囊にわが涙を *
 晩夏 *
 夕日のとり *
 月と運河(試作) *
 未完(絶筆) *
 未完(絶筆) *
 冬の夕(絶筆) *
 未完(絶筆) *

作者名	作品名(* 寄託作品)	貸出先	展覧会名	会場・会期
鶴岡政男	静かなる夜(山と月と湖) 涙する人 地表 眠る人 春の野 西方の聖 青いカーテン 転がっている首 男の顔 人体	高崎市美術館	生誕110年 人、鶴岡政男	高崎市美術館 2.10-3.25
小杉放菴(未醒)	秋果童子	アーツ前橋	横堀角次郎とその仲間たち口 草土社の細密画から、 郷里赤城山の風景まで	アーツ前橋 3.17-5.29

5. 保存・修復

作者名	作品名	技法・材質	種別	処置内容
バリー・フラナガン	鐘の上の野兎	ブロンズ	彫刻	ブロンズ表面コーティング

所蔵資料

B 図書資料その他

平成29年度 収蔵図書

種類区分	一般図書	定期刊行物	カタログ	年報目録	研究報告	その他	計
購入	120	78	22	0	8	1	229
寄贈	110	75	1,043	219	265	9	1,721
計	230	153	1,065	219	273	10	1,950

職員名簿

(平成 30 年 3 月 2 日現在)

群馬県立館林美術館作品収集委員

氏名	職名
水沢勉	神奈川県立近代美術館 館長
横山勝彦	金沢美術工芸大学大学院 専任教授
高木幸枝	町田市立国際版画美術館 学芸担当課長
河合晴生	元東京都美術館学芸員

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

館長	佐々木正直
副館長	武井俊彦

<教育普及係>

教育普及係長	山崎雅史
主幹(事)	平野由紀夫
主幹(事)	田口博文
主幹(事)	齊藤由紀子
主幹(学芸員)	熊谷ゆう子
教育普及員	齋藤久美子
	羽鳥あゆみ
	竹渕典子
	松本梨江
	長井みずき

<学芸係>

学芸係長	松下由里
主幹(学芸員)	松下和美
主任(学芸員)	野澤広紀
学芸員	佐原しおり
主幹専門員	徳江庸行
資料整理員	伊羅子典代